



Sun StorEdge™ 3000 Family 2.0 ソフトウェアインストールガイド

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 817-6632-11
2005 年 7 月、改訂第 A 版

コメントの送付先 : <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright © 2002-2005 Dot Hill Systems Corporation, 6305 El Camino Real, Carlsbad, California 92009, USA. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. および Dot Hill Systems Corporation は、本製品または文書に含まれる技術に関する知的所有権を所有していることがあります。特に、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に記載される米国特許権が 1 つ以上、あるいは、米国およびその他の国における追加特許権または申請中特許権が 1 つ以上、制限なく含まれている場合があります。

本製品または文書は、その使用、複製配布、およびデコンパイルを制限するライセンスの下に配布されます。Sun およびそのライセンス (該当する場合) からの書面による事前の許可なく、いかなる手段や形態においても、本製品または文書の全部または一部を複製することを禁じます。

サードパーティソフトウェアは、Sun のサプライヤより著作権およびライセンスを受けています。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、米国およびその他の国における登録商標であり、X/Open Company, Ltd. からの独占ライセンスを受けています。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Sun StorEdge、AnswerBook2、docs.sun.com、および Solaris は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

米国政府の権利 - 商用。政府内ユーザーは、Sun Microsystems, Inc. の標準ライセンス契約、および該当する FAR の条項とその補足条項の対象となります。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性、または権利の非侵害性に関する黙示の保証を含む、すべての明示的または黙示的な条件、表明および保証を否認します。ただし、これらの否認が法令で認められていない場合はこの限りではありません。



Adobe PostScript

目次

はじめに xi

1. はじめに 1

リリースノート 1

スーパーユーザー特権 1

オペレーティングシステム情報 2

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性 3

2. Solaris ホストへのソフトウェアのインストール 5

インストールを開始する前に 5

システム要件 6

ソフトウェアのインストール 7

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性 7

インストールパッケージ 7

▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする 8

▼ CD からソフトウェアをインストールする 9

▼ 日本語版の man ページをインストールする 12

Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter の手動による停止と起動 12

▼ Sun StorEdge Configuration Service エージェントを停止および起動する 12

▼ Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントを停止および起動する 13

ユーザーとパスワード 14

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン 14

▼ パスワードとアクセス権を作成する 15

ソフトウェアのアンインストール 16

▼ 以前のバージョンの Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする 16

▼ 以前のバージョンの CLI をアンインストールする 17

▼ バージョン 2.0 のソフトウェアをアンインストールする 17

▼ 日本語版の man ページをアンインストールする 18

構成の復元 18

障害追跡 19

3. Microsoft Windows ホストへのソフトウェアのインストール 21

システム要件 21

ソフトウェアのインストール 23

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性 23

インストールパッケージ 23

▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする 23

CD からのソフトウェアのインストール 24

▼ Sun StorEdge Configuration Service エージェントおよびコンソールをインストールする 25

▼ Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールする 26

▼ Sun StorEdge CLI をインストールする 27

▼ Sun StorEdge Configuration Service エージェントを停止 / 起動する 28

▼ Sun StorEdge Diagnostic Reporter を停止 / 起動する 28

ユーザーとパスワード 29

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン 29

グローバルパスワード 30

▼ Microsoft Windows 2000 または Microsoft Windows 2003 ユーザーを作成する 30

ソフトウェアのアンインストール 31

▼ Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールする 31

- ▼ Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする 31
- ▼ Sun StorEdge CLI をアンインストールする 32

4. Linux ホストへの Sun StorEdge Configuration Service のインストール 33

システム要件 33

ソフトウェアのインストール 34

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性 35

インストールパッケージ 35

- ▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする 36
- ▼ CD からエージェントおよびコンソールをインストールする 37
- ▼ エージェントを停止 / 起動する 38

ユーザーとパスワード 39

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン 39

- ▼ パスワードとアクセス権を作成する 41

Sun StorEdge Configuration Service のアンインストール 41

- ▼ Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールする 41

5. HP-UX ホストへの Sun StorEdge Configuration Service のインストール 43

システム要件 43

ソフトウェアのインストール 44

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性 45

インストールパッケージ 45

- ▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする 46
- ▼ CD からエージェントおよびコンソールをインストールする 47
- ▼ コンソールを表示する 48
- ▼ エージェントを停止 / 起動する 48

ユーザーとパスワード 49

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン 49

- ▼ パスワードとアクセス権を作成する 50

Sun StorEdge Configuration Service のアンインストール 51

- ▼ Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールする 51

6. IBM AIX ホストへの Sun StorEdge Configuration Service のインストール 53

システム要件 53

ソフトウェアのインストール 54

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性 55

インストールパッケージ 55

- ▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする 56

- ▼ CD からエージェントおよびコンソールをインストールする 57

- ▼ エージェントを停止 / 起動する 58

ユーザーとパスワード 59

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン 59

- ▼ パスワードとアクセス権を作成する 60

Sun StorEdge Configuration Service のアンインストール 61

- ▼ Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールする 61

7. Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール 63

システム要件 64

ソフトウェアのインストール 64

インストールパッケージ 64

- ▼ Linux ホストに Diagnostic Reporter をインストールする 65

- ▼ HP-UX ホストに Diagnostic Reporter をインストールする 66

- ▼ IBM AIX ホストに Diagnostic Reporter をインストールする 67

Sun StorEdge Diagnostic Reporter の手動による停止および起動 69

- ▼ Linux ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を停止および起動する 69

- ▼ HP-UX ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を停止および起動する 69

- ▼ IBM AIX ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を停止および起動する 69

Sun StorEdge Diagnostic Reporter のアンインストール 70

- ▼ Linux ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする 70

- ▼ HP-UX ホストで Diagnostic Reporter をアンインストールする 70
- ▼ IBM AIX ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする 70

8. コマンド行インタフェースのインストールとアクセス 71

CLI のインストールを開始する前に 71

システム要件 72

ソフトウェアのインストール 72

インストールパッケージ 72

- ▼ Linux ホストに CLI をインストールする 73
- ▼ HP-UX ホストに CLI をインストールする 73
- ▼ IBM AIX ホストに CLI をインストールする 74

CLI のアンインストール 75

- ▼ Linux ホストで CLI をアンインストールする 75
- ▼ HP-UX ホストで CLI をアンインストールする 75
- ▼ IBM AIX ホストで CLI をアンインストールする 76

索引 77

表

表 2-1	Solaris OS のシステム要件	6
表 2-2	Solaris OS で言語サポートを得るために必要なインストールパッケージ	8
表 2-3	Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter 1.5 のインストールパッケージ	17
表 3-1	Microsoft Windows OS のコンソールのシステム要件	22
表 3-2	Microsoft Windows OS のエージェントのシステム要件	22
表 3-3	Microsoft Windows OS の Diagnostic Reporter の要件	22
表 3-4	Microsoft Windows OS の CLI の要件	22
表 4-1	Linux OS のコンソールのシステム要件	34
表 4-2	Linux OS のエージェントのシステム要件	34
表 5-1	HP-UX OS のコンソールシステム要件	44
表 5-2	HP-UX OS のエージェントのシステム要件	44
表 6-1	IBM AIX OS のコンソールのシステム要件	54
表 6-2	IBM AIX OS のエージェントのシステム要件	54
表 7-1	Linux、HP-UX、および IBM AIX の Sun StorEdge Diagnostic Reporter のシステム要件	64
表 7-2	Sun StorEdge Diagnostic Reporter インストールパッケージ	64
表 8-1	CLI のシステム要件	72
表 8-2	コマンド行インタフェースのインストールパッケージ	72

はじめに

このマニュアルでは、Sun StorEdge™ Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、およびコマンド行インタフェース (CLI) のインストール方法を説明します。

Sun StorEdge Configuration Service を使用すると、グラフィカルユーザーインタフェース (GUI) を通じて Sun StorEdge 3000 ファミリ製品を監視および管理することができます。Sun StorEdge Configuration Service の使用方法の詳細は、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザーズガイド』を参照してください。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter は、Sun StorEdge Configuration Service の併用ユーティリティで、ストレージシステムイベントを指定した電子メールアドレスに報告します。Sun StorEdge Diagnostic Reporter の使用方法の詳細は、『Sun StorEdge 3000 Family Diagnostic Reporter ユーザーズガイド』を参照してください。

CLI では、Sun StorEdge Configuration Service やファームウェアアプリケーションで実行できる多くの操作を実行できます。CLI の使用方法の詳細は、『Sun StorEdge 3000 Family CLI ユーザーズガイド』を参照してください。

特に指定がない場合、「アレイ」とは、Sun StorEdge 3120 SCSI Array、Sun StorEdge 3310 SCSI アレイ、Sun StorEdge 3320 SCSI Array、Sun StorEdge 3510 FC Array、および Sun StorEdge 3511 SATA Array のことです。

このマニュアルは、Sun のハードウェアおよびソフトウェア製品の使用に習熟した上級のシステム管理者を対象として書かれています。

内容の紹介

このマニュアルでは、次の項目について説明します。

第 1 章では、Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、またはコマンド行インタフェース (CLI) をインストールする前に知っておく必要のある事項を説明します。

第 2 章では、Solaris™ ホストにおける、Sun StorEdge Configuration Service エージェントおよびコンソールのシステム要件とインストール手順を説明します。

第 3 章では、Windows 2000 および Windows 2003 ホストにおける、Sun StorEdge Configuration Service エージェントおよびコンソールのシステム要件とインストール手順を説明します。

第 4 章では、Linux ホストにおける、Sun StorEdge Configuration Service エージェントおよびコンソールのシステム要件とインストール手順を説明します。

第 5 章では、HP-UX ホストにおける、Sun StorEdge Configuration Service エージェントおよびコンソールのシステム要件とインストール手順を説明します。

第 6 章では、IBM AIX ホストにおける、Sun StorEdge Configuration Service エージェントおよびコンソールのシステム要件とインストール手順を説明します。

第 7 章では、Sun StorEdge Diagnostic Reporter のシステム要件とインストール手順を説明します。

第 8 章では、CLI のシステム要件とインストール手順を説明します。

UNIX コマンドの使用方法

基本的な UNIX® コマンド情報のほか、システムのシャットダウンや起動、デバイスの構成などの手順の一部は、このマニュアルでは説明しません。次の関連文書を参照してください。

- 使用システムに付属しているソフトウェアマニュアル
- Solaris™ オペレーティングシステムのマニュアル

<http://docs.sun.com>

シェルプロンプト

シェル	プロンプト
C シェル	<i>machine-name%</i>
C シェルのスーパーユーザー	<i>machine-name#</i>
Bourne シェルと Korn シェル	\$
Bourne シェルと Korn シェルのスーパーユーザー	#

表記上の規則

書体 ¹	意味	例
AaBbCc123	コマンド、ファイル、ディレクトリの名前、または画面に表示されるコンピュータ出力。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使って、全ファイルを一覧表示 します。 % You have mail.
AaBbCc123	画面上のコンピュータ出力と区別し、ユーザーが入力する内容。	% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	書名、新しい用語、語句の強調。コマンド行変数は、実際の名前または値で置き換えます。	これらは <i>class</i> オプションと呼ばれます。 ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と 入力します。

¹ これらの書体は、使用しているブラウザの設定により異なる場合があります。

関連マニュアル

次の表に、関連ソフトウェアマニュアルを一覧表示します。すべての関連マニュアルを確認したい場合は、ご使用のアレイの『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービスマニュアル』を参照してください。

タイトル	Part No.
Sun StorEdge 3120 SCSI Array Release Notes	816-7955
Sun StorEdge 3310 SCSI Array Release Notes	816-7292
Sun StorEdge 3320 SCSI Array Release Notes	817-7660
Sun StorEdge 3510 FC Array and Sun StorEdge 3511 SATA Array Release Notes	817-6597
Sun StorEdge 3000 Family 2.0 ソフトウェアインストールガイド	817-3764
Sun StorEdge 3000 Family RAID Firmware 4.1x User's Guide	817-3711
Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service 2.0 User's Guide	817-3337
Sun StorEdge 3000 Family Diagnostic Reporter 2.0 User's Guide	817-3338
Sun StorEdge 3000 Family CLI 2.0 ユーザーズガイド	817-4951

Sun 文書へのアクセス

Sun StorEdge 3000 ファミリのすべてのマニュアルは、次の URL から PDF 形式および HTML 形式で入手できます。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network_Storage_Solutions/Workgroup/

SCSI、FC、および SATA アレイのマニュアルは、それぞれ次の URL から入手できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/coll/3120SCSIarray>

<http://docs.sun.com/app/docs/coll/3310SCSIarray>

<http://docs.sun.com/app/docs/coll/3320SCSIarray>

<http://docs.sun.com/app/docs/coll/3510FCarray>

<http://docs.sun.com/app/docs/coll/3511FCarray>

Sun の各種マニュアルは、次のサイトから表示、印刷、または購入することができます。

<http://www.sun.com/documentation>

テクニカルサポート

最新の技術情報や障害追跡に関するヒントは、ご使用のレイのリリースノートを参照してください。リリースノートの入手先は、[xiv ページの「Sun 文書へのアクセス」](#)に記載されています。

このマニュアルを参照しても、この製品に関する技術的な質問の回答が得られない場合は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

米国内でのサービスリクエストの開始またはお問い合わせは、次の Sun サポートにご連絡ください。

800-USA4SUN

国際テクニカルサポートについては、次のサイトから該当国のセールスオフィスにご連絡ください。

<http://www.sun.com/service/contacting/sales.html>

508 アクセシビリティ機能

Sun StorEdge のマニュアルは、視覚障害を持つユーザーの支援テクノロジープログラムに対応した Section 508 準拠の HTML ファイルで入手できますこれらのファイルは、使用する製品の文書 CD に収められているほか、前述の「Sun の文書へのアクセス」に記載されている Web サイトでも入手できます。さらに、ソフトウェアアプリケーションとファームウェアアプリケーションでは、キーボードナビゲーションとショートカットも使用できます。これらに関する説明はユーザーズガイドに記載されています。

コメントの送付

Sun では、よりよいマニュアルを作成するため、ユーザーからのフィードバックを受け付けています。ご意見やご提案の送付は、下記のサイトからお願いいたします。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

フィードバックには、マニュアルのタイトルと Part No. もお書き添えください。『Sun StorEdge 3000 Family 2.0 ソフトウェアインストールガイド』、Part No. 817-6632-11

はじめに

この章では、Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、および Sun StorEdge CLI をインストールする前に知っておく必要のある重要事項を説明します。この章では、次の項目について説明します。

- [1 ページの「リリースノート」](#)
- [1 ページの「スーパーユーザー特権」](#)
- [2 ページの「オペレーティングシステム情報」](#)

リリースノート

使用しているアレイのリリースノートを読んで、このマニュアルの対象のオペレーティングシステムが、使用している StorEdge Family 製品のサポート対象であることを確認してください。また他のサポート対象ソフトウェアの詳細も確認してください。

スーパーユーザー特権

Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、および CLI をインストールして、Sun StorEdge Configuration Service コンソールを実行するには、スーパーユーザー（管理者）になります。

オペレーティングシステム情報

この節では、オペレーティングシステム (OS) の情報を提供します。

- ご使用のアレイが Sun StorEdge 3310 SCSI アレイ、Sun StorEdge 3320 SCSI Array、Sun StorEdge 3510 FC Array、Sun StorEdge 3511 SATA Array のいずれかである場合は、Sun StorEdge Configuration Service をインストールする前に、次の作業を行う必要があります。
 - OS の更新をインストールします。Sun StorEdge Configuration Service を Solaris ホストで使用するには、最新の Sun 推奨 OS パッチと Java™ Runtime ソフトウェア パッチをインストールします。Sun 推奨パッチのリストは、使用しているアレイのリリースノートを参照してください。
 - Sun StorEdge Configuration Service エージェントのインストール先となるホストサーバーが、プライマリ ID が割り当てられたチャンネルに接続されていることを確認します。コントローラのデフォルト値と初期構成情報については、『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービスマニュアル』を参照してください。
 - ホストがストレージに接続されていて、ストレージを認識することを確認します。
- ご使用のアレイが Sun StorEdge 3310 SCSI アレイまたは Sun StorEdge 3320 SCSI Array である場合は、Sun StorEdge Configuration Service を Solaris ホストにインストールする前に、OS が同じ ID で複数の論理ユニット番号 (LUN) を認識できることを確認します。ホスト LUN を追加で割り当てる場合、/kernel/drv/sd.conf の修正が必要になることがあります。このファイルの修正方法については、ご使用のアレイの『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービスマニュアル』を参照してください。sd.conf ファイルを変更した場合、変更を有効にするためにはワークステーションを再起動する必要があります。
- OS にエンタープライズ管理コンソールが付属している場合は、**SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) サービス**を使ってトラップイベントをコンソールに送信するように、エージェントを構成することができます。SNMP サービスは OS に含まれており、TCP/IP プロトコルスタックのインストール後にインストールされます。ネットワーク上のホストが SNMP トラップをエンタープライズ管理コンソールに送信するように設定する方法については、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザーズガイド』の付録「電子メールと SNMP」を参照してください。

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性

通信プロトコルはバージョンごとに異なります。このため、アップグレード時には、エージェントおよびコンソールの両方をインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

Solaris ホストへのソフトウェアのインストール

Solaris ホストのソフトウェアインストールパッケージには、Sun StorEdge 3000 Family アレイの全ソフトウェアコンポーネントが収められています。この章では、Solaris ホストに Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、および CLI をインストールする手順を説明します。この章では、次の項目について説明します。

- 5 ページの「インストールを開始する前に」
- 6 ページの「システム要件」
- 7 ページの「ソフトウェアのインストール」
- 12 ページの「Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter の手動による停止と起動」
- 14 ページの「ユーザーとパスワード」
- 16 ページの「ソフトウェアのアンインストール」
- 18 ページの「構成の復元」
- 19 ページの「障害追跡」

インストールを開始する前に

プログラムのインストールを開始する前に、次の作業を行います。

- ご使用のアレイのリリースノートを読みます。
- OS の更新をインストールします。Sun StorEdge Configuration Service を Solaris ホストで使用するには、Solaris 8 および Solaris 9 OS の最新の Sun 推奨 OS パッチと Java Runtime 環境ソフトウェアパッチをインストールする必要があります。Sun 推奨パッチの一覧は、ご使用のアレイのリリースノートに記載されています。

システム要件

この節では、Solaris ホストのシステム要件を説明します。

- Netscape Navigator™ - オンラインヘルプを表示するには、Web ブラウザが必要です。4.0 より前のバージョンはサポートされません。
- TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース - 各コンソールには TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース (Ethernet、トークンリングネットワークカード、またはモデム付きのシリアル回線など) が必要です。各エージェントには、TCP/IP 準拠のネットワークインタフェースおよびドライバセット (オペレーティングシステムに付属) が必要です。
- カラーモニター - コンソールは、解像度 1024 × 768 ピクセルで 256 色のモニターを使用すると最適な表示になります。
- OS、メモリー、およびディスク空き容量 - Solaris OS のコンソールのシステム要件については、表 2-1 を参照してください。

表 2-1 Solaris OS のシステム要件

Solaris OS のバージョン	メモリー	ディスク空き容量
Solaris 2.6 (Sun 推奨パッチのインストール済み)	256M バイト (必須)	100M バイト以上
SPARC プラットフォームで実行されている Solaris 8、Solaris 9、および Solaris 10 (いずれも Sun 推奨パッチのインストール済み)	512M バイト (推奨)	200M バイト (推奨)
x86 版 Solaris 9 (9 08/03) (Sun 推奨パッチのインストール済み)		
Sun 推奨パッチの一覧は、ご使用のアーレイのリリースノートに記載されています。		

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアインストールパッケージ SUNWsscscs には、次のコンポーネントが収められています。

- Sun StorEdge Configuration Service エージェント
- Sun StorEdge Configuration Service コンソール
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェント (デーモン)
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter Config Tool (UI)
- コマンド行インタフェース (CLI)

注 - ソフトウェアのインストールを開始する前に、ご使用のアレイのリリースノートをお読みください。

注 - パッケージをインストールし、Sun StorEdge Configuration Service コンソールを実行するには、スーパーユーザーである必要があります。

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性

通信プロトコルはバージョンごとに異なります。このため、アップグレード時には、ストレージ管理を行うすべてのシステムに SUNWsscscs パッケージをインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

インストールパッケージ

Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、および CLI は、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD 内の SUNWsscscs という単一のインストールパッケージに収められています。CD を使用できない場合は、Sun のダウンロードセンターの Web サイトから、ソフトウェアをダウンロードすることができます。

Sun StorEdge Configuration Service では、フランス語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語がサポートされます。表 2-2 に、それぞれの言語に必要なファイルを示します。

注 - Sun StorEdge Configuration Service では、韓国語のマニュアルは提供されますが、ユーザーインタフェースは英語になります。

注 - どの言語を使用する場合でも、最初に英語版をインストールしてください。

表 2-2 Solaris OS で言語サポートを得るために必要なインストールパッケージ

英語	フランス語	日本語	中国語 (簡体字)	中国語 (繁体字)
SUNWsscs	SUNWfsscs	SUNWjsscs	SUNWcsscs	SUNWhsscs

英語版のパッケージのみをインストールする場合は、英語版の指示だけを参照してください。言語サポートをあとで追加する場合は、英語版のプログラムを最初にインストールします。

アップグレードを行う場合は、ストレージ管理を行うすべてのシステムに SUNWsscs パッケージをインストールします。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

注 - Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。Solaris 2.6 ホストの Sun StorEdge Configuration Service は、Java Runtime 環境ソフトウェアのリリース 1.3.1 以上と互換性があります。Solaris 8 または 9 ホストの Sun StorEdge Configuration Service は、Java Runtime 環境ソフトウェアのリリース 1.2 以上と互換性があります。

▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする

Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を使用できない場合は、Sun のダウンロードセンターの Web サイトからソフトウェアをダウンロードすることができます。

1. アップグレードを行う前に、以前のバージョンの **Sun StorEdge Configuration Service**、**Sun StorEdge Diagnostic Reporter**、および **CLI** をエージェントも含めてアンインストールしてください。

バージョン 2.0 以降、それまでは別々のパッケージに収められていたソフトウェアが SUNWsscs という単一のパッケージにまとめられました。SUNWsscs をインストールする前に、以前のバージョンのソフトウェアが収められているパッケージをすべて削除してください。アンインストール方法については、[16 ページの「ソフトウェアのアンインストール」](#)を参照してください。

2. 次の URL にアクセスします。

<http://www.sun.com/software/download/>

3. 「System Administration」 の下の 「Storage Management」 を選択し、「Sun StorEdge 3000 Family Storage Products - Related Software」 のリンクをクリックして、「Download」 ボタンをクリックします。
Sun のダウンロードセンターのページが開きます。
4. ユーザー登録がまだの場合は、登録してください。
 - a. 画面左側の下部に表示されている 「Register Now」 のリンクをクリックします。
 - b. 登録ページの必須フィールドに必要事項を記入し、「Register」 をクリックします。
5. ログインします。
 - a. 左側の欄にユーザー名とパスワードを入力し、「Login」 をクリックします。
 - b. 「Terms of Use」 ページでライセンス条項を確認したら、「Accept」 の横の 「Yes」 をクリックします。続いて、「Continue」 ボタンをクリックします。
6. ソフトウェアのダウンロードページで、ご使用のアレイと OS のリンクをクリックします。
7. 表示されたダイアログボックスにダウンロード先のディレクトリを指定し、ファイルを保存します。
8. ファイルがダウンロードされたディレクトリに移動し、ファイルを解凍します。
9. 次のように入力します。

```
cd filename/solaris/$ARCH
```

filename はダウンロードされたファイルの名前です。*\$ARCH* は、ご使用の Solaris OS の種類によって、sparc または i386 になります。

10. [9 ページの「CD からソフトウェアをインストールする」の手順 3](#)に進みます。

▼ CD からソフトウェアをインストールする

1. アップグレードを行う前に、以前のバージョンの Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、および CLI をエージェントも含めてアンインストールしてください。
バージョン 2.0 以降、それまでは別々のパッケージに収められていたソフトウェアが SUNWsscs という単一のパッケージにまとめられました。SUNWsscs をインストールする前に、以前のバージョンのソフトウェアが収められているパッケージをすべて削除してください。アンインストール方法については、[16 ページの「ソフトウェアのアンインストール」](#)を参照してください。

2. Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、次のように入力します。

```
# cd /cdrom/cdrom0/product/solaris/$ARCH
```

\$ARCH は、Solaris OS の種類によって、sparc または i386 になります。

3. 英語版パッケージをインストールするには、次のように入力します。

```
# pkgadd -d .SUNWsscs
```

- (オプション) 言語サポートを追加する場合は、次のように入力します。

```
# pkgadd -d .SUNWxsscs
```

x は、インストールする言語によって、f、j、c、または h になります。パッケージ名については、表 2-2 を参照してください。

4. インストールプロンプトが表示されるたびに、適切な応答を入力します。
 - a. エージェントの構成を復元するかどうか尋ねられたら、y を入力します。n を入力した場合は、管理サーバーを再び有効にする必要があります。

```
The previous configuration was saved.Do you want to restore the configuration [y,n,?,q]:y
```

- b. インストールを続行するには、y を入力して Return キーを押します。

```
Do you want to continue with the installation [y,n,?] y
```

パッケージのインストールが完了すると、正常にインストールが行われたことを示す次のメッセージが表示されます。

```
Installation of <SUNWsscs> was successful.
```

Sun StorEdge Configuration Service コンポーネントは、次のディレクトリにインストールされます。

- /opt/SUNWsscs/ssagent
- /opt/SUNWsscs/sscsconsole

Sun StorEdge Diagnostic Reporter コンポーネントは、次のディレクトリにインストールされます。

- /opt/SUNWsscs/ssdiagreporterd

- /opt/SUNWsscs/ssdiagreporterui

CLI は /opt/SUNWsscs/sbin/sscli にインストールされます。

5. Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter を使ってストレージの管理および監視を行う場合は、さらに次の手順も実行する必要があります。

a. Sun StorEdge Configuration Service のすべてのユーザーにパスワードを設定する必要があります。

詳細は、14 ページの「ユーザーとパスワード」を参照してください。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールすると、ユーザーパスワードは削除されます。14 ページの「ユーザーとパスワード」の手順に従って、ssmon、ssadmin、および ssconfig のパスワードを再入力する必要があります。

b. Sun StorEdge Configuration Service コンソールを起動する前に、次のコマンドを実行して、オンラインヘルプを表示する Web ブラウザを指定します。

```
/opt/SUNWsscs/sscsconsole/config_sscon
```

c. Sun StorEdge Configuration Service エージェントと Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェント (デーモン) のインストールが完了しています。しかし、デフォルトの設定では、これらがシステムの起動時に自動的に起動することはありません。Sun StorEdge Configuration Service エージェントがシステムの起動時に自動的に起動するように設定し、エージェントをただちに起動するには、次のコマンドを入力します。

```
/etc/init.d/ssagent enable start
```

Sun StorEdge Diagnostic Reporter をシステムがシステムの起動時に自動的に起動するように設定し、ただちに起動するには、次のコマンドを入力します。

```
/etc/init.d/ssdgrptd enable start
```

6. Sun StorEdge 3310 SCSI アレイまたは Sun StorEdge 3320 SCSI Array については、このアレイからホストに LUN 0 以外の LUN がマップされていて、デバイスの接続に Sun ホストのオンボード HBA または サードパーティーの HBA が使用されている場合に、/kernel/drv/sd.conf を編集します。

使用する構成に応じて、LUN の行を追加します。LUN には、0 ~ 31 の番号を付けることができます。通常は、実際に備える以上の LUN 定義は追加しません。追加すると、各 SCSI バスをスキャンするために必要な時間が増えてしまうからです。sd.conf ファイルの修正方法については、ご使用のアレイの『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービスマニュアル』を参照してください。

7. `sd.conf` ファイルを編集した場合は、新しい構成内容を反映するためにシステムを再起動します。

`sd.conf` ファイルを編集していない場合は、新しい構成を反映するためにシステムを再起動する必要はありません。エージェントは自動的に起動します。

▼ 日本語版の man ページをインストールする

Solaris の CLI から、日本語版の man ページを参照できます。man ページをインストールするには、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Management CD を挿入し、次のように入力します。

```
# pkgadd -d /cdrom/cdrom0/product/solaris SUNWjssc1
```

Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter の手動による停止と起動

インストール時に、システムの起動時に Sun StorEdge Configuration Service エージェントと Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントが自動的に起動するように設定することができますが、これらのエージェントは手動で起動および停止することもできます。

注 - エージェントを起動および停止するには、スーパーユーザーである必要があります。

▼ Sun StorEdge Configuration Service エージェントを停止および起動する

エージェントは、手動で停止および起動することができます。

1. エージェントを停止するには、次のように入力します。

```
# /etc/init.d/ssagent stop
```

2. エージェントを起動するには、次のように入力します。

```
# /etc/init.d/ssagent start
```

最初に stop を実行せずに start を実行すると、スクリプトにより、停止中のエージェントが再起動します。すべてのエージェントが (たとえば stop オプションによって) 停止していた場合は、実行環境が再構成されたあと、エージェントが再起動します。

3. エージェントが実行中かどうか確認するには、次のように入力します。

```
# ps -e | grep ss
```

ssmon と ssserver の両方が出力されます。SNMP トラップ生成を有効にしてあった場合は、その名前 sstrapd も表示されます。

4. システムの初期起動後にストレージシステムが表示されなかった場合は、エージェントを停止し、コマンドプロンプトで次のコマンドを実行します。

```
# format
```

5. 目的のディスクにラベルを付けたあと、エージェントを再起動します。

▼ Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントを停止および起動する

次のように入力します。

```
# /etc/init.d/ssdgrptd stop  
# /etc/init.d/ssdgrptd start
```

ユーザーとパスワード

以降の節では、Sun StorEdge Configuration Service のユーザーとパスワードの作成方法について説明します。

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン

Solaris ホストで Sun StorEdge Configuration Service を実行する場合、管理セキュリティーレベルはインストール時に自動的に作成されます。必要な操作は、アクセス権レベルに応じてパスワードを設定し、ユーザーを割り当てることだけです。

管理者がほかのクライアントやホストのストレージリソースを許可なく再割り当てしたり、削除したりできないように、管理機能にはアクセスログインとパスワードが設定されています。

プログラムの 3 つのセキュリティーレベルに個別のパスワードを割り当ててください。このためには、プログラムで管理されるストレージデバイスを持つエージェントに、3 つのユーザーを設定します。この 3 つのユーザーは、エージェントのインストール時に自動的に追加されます。

セキュリティーレベルの名前は、次のとおりでなければなりません。

- `ssmon`

ソフトウェアの監視レベルを表します。

- `ssadmin`

ソフトウェアの管理レベルを表します。再構築、パリティチェック、およびパリティチェックのスケジュールの機能へのアクセスと、監視機能を提供します。

- `ssconfig`

ソフトウェアの構成レベルを表します。インストール担当者に、構成機能およびプログラムのその他の関連機能への直接アクセスを許可します。

3 つのセキュリティーレベルには、これらのログイン名が必要です。インストールが完了したら、各セキュリティー名にパスワードを割り当てます。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールすると、ユーザーパスワードは削除されます。ssmon、ssadmin、および ssconfig のパスワードを再入力する必要があります。

ssmon、ssadmin、および ssconfig の名前は、プログラムのセキュリティーレベルのみに対応するログイン名です。UNIX オペレーティング環境では、対話型ログインでこれらのユーザー ID が使用されないように、これらのアカウントのデフォルトシェルは `/bin/false` に割り当てられています。

Sun StorEdge Configuration Service は、ユーザーが `ssmon` パスワードを入力せずに監視機能を実行できるように設定できます。このためには、コンソールでサーバーを「管理サーバー」リストに追加するときに、「自動発見」オプションを選択します。この3つのログインとパスワードは、各ホストでローカルに設定できます。必要であれば、これらのアカウントにホストごとに異なるパスワードを設定することもできます。

システム管理者は、管理対象エージェントにこの3つのログイン名を設定したあと、通常、タスクの完了に必要なセキュリティレベルに基づいてユーザーに適切なパスワードを割り当てることにより、プログラムへのユーザーアクセスを許可します。たとえば、特定のホストで管理特権を持つ全ユーザーには、ユーザー `ssadmin` のパスワードが割り当てられます。

注 - 「管理サーバー」リストにサーバーを追加する方法については、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザーズガイド』を参照してください。

▼ パスワードとアクセス権を作成する

各新規ユーザーにパスワードを作成するには、次のように入力します。

```
# passwd user-name
```

確認のため、同じパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。

管理者は、グループのアクセス権を変更することもできます。グループのアクセス権は、インストール時に、`/opt/SUNWsscs/sscsconsole` ディレクトリにある `svrlist.dat` ファイルで定義されています。

コンソールは Java テクノロジベースのユーティリティであるため、Sun StorEdge Configuration Service が作成するファイルのアクセス権や所有権を制御する機能は提供しません。`svrlist.dat` ファイルは、各種の ASCII テキストプロセッサで容易に読み取ることができます。このファイルには、ユーザー `ssmon` の暗号化されたパスワードが含まれており、復号化が可能です。

注 - 監視するエージェントをすべて追加したあとで、`svrlist.dat` のアクセス権とグループ所有権を変更しないでください。

ソフトウェアのアンインストール

バージョン 2.0 以降、それまでは別々のパッケージになっていたソフトウェアコンポーネントが SUNWsscs という単一のパッケージにまとめられました。SUNWsscs をインストールする前に、以前のバージョンのソフトウェアが収められているパッケージをすべて削除してください。詳細は、[16 ページの「以前のバージョンの Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする」](#)と [17 ページの「以前のバージョンの CLI をアンインストールする」](#)を参照してください。

バージョン 2.0 のソフトウェアをアンインストールする方法については、[17 ページの「バージョン 2.0 のソフトウェアをアンインストールする」](#)を参照してください。

日本語版 man ページをアンインストールする方法については、[17 ページの「バージョン 2.0 のソフトウェアをアンインストールする」](#)を参照してください。

インストール後に作成されたファイルはアップグレード後の環境でも有効なので、削除されません。

▼ 以前のバージョンの Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする

pkgrm コマンドで、アンインストールするパッケージを指定します。

注 – フランス語、日本語、または中国語（簡体字）の言語サポートを追加している場合は、英語版パッケージをアンインストールする前に、それらのパッケージをアンインストールする必要があります。

```
# pkgrm package-name
```

ここで *package-name* は、アンインストールするパッケージです。Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter 1.5 のパッケージ名のリストは、表 2-3 のとおりです。

表 2-3 Sun StorEdge Configuration Service と Sun StorEdge Diagnostic Reporter 1.5 のインストールパッケージ

	英語	フランス語	日本語	簡体字 中国語
Sun StorEdge Configuration Service				
エージェント	SUNWscsd	SUNWfscsd	SUNWjscsd	SUNWcscsd
コンソール	SUNWscsu	SUNWfscsu	SUNWjscsu	SUNWcscsu
Sun StorEdge Diagnostic Reporter				
エージェント	SUNWscsa	SUNWfscs	SUNWjscs	SUNWcscs
Config Tool (UI)	SUNWscui	SUNWfscui	SUNWjscui	SUNWcscui

▼ 以前のバージョンの CLI をアンインストールする

CLI をアンインストールするには、`pkgrm` コマンドを使用します。

```
# pkgrm SUNWsccli
```

▼ バージョン 2.0 のソフトウェアをアンインストールする

Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、および CLI をアンインストールするには、`pkgrm` コマンドを使用します。

```
# pkgrm SUNWsscs
```

▼ 日本語版の man ページをアンインストールする

日本語版の man ページをインストールしている場合は、`pkgrm` コマンドを使用してアンインストールできます。

```
# pkgrm SUNWjsc1
```

構成の復元

Sun StorEdge Configuration Service の再インストール時には、構成を復元するかどうかを確認するメッセージが表示されます。構成を復元するように選択した場合、次のファイルから情報が復元されます。

- `/var/opt/SUNWsscs/sscsagt.cfg.tar` - Sun StorEdge Configuration Service エージェント
- `/var/opt/SUNWsscs/sscscon.cfg.tar` - Sun StorEdge Configuration Service コンソール

注 – Sun StorEdge Configuration Service を削除する場合は、これらのファイルを手動で削除してもかまいません。しかし、あとでプログラムを再インストールする場合は、ファイルが削除されているとエージェントの構成およびコンソールの構成を復元できなくなります。

障害追跡

マシンにはすでに Java Runtime 環境 1.2.2、1.3、または 1.4 がインストールされているのに、Sun StorEdge Configuration Service のインストール時に `java -version` を実行すると 1.2.2 より前のソフトウェアバージョンが出力されることがあります。この状況が発生した場合は、Java Runtime 環境ソフトウェアから最新バージョンへのリンクがあることを確認します。

`/usr` ディレクトリをチェックし、次のように入力して最新バージョンの Java Runtime 環境へのリンクがあることを確認します。

```
# cd /usr
ls | grep java
```

リンクが上記の最新バージョンの Java へのリンクではない場合は、次のように入力します。

```
rm java
ln -s /usr/xxx /usr/java
```

`xxx` は、最新バージョンの Java Runtime 環境ソフトウェアです。

Microsoft Windows ホストへのソフトウェアのインストール

この章では、Microsoft Windows 2000 または Microsoft Windows 2003 ホストに、Sun StorEdge Configuration Service コンソールおよびエージェントをインストールする手順を説明します。この章では、次の項目について説明します。

- 21 ページの「システム要件」
- 23 ページの「ソフトウェアのインストール」
- 29 ページの「ユーザーとパスワード」
- 31 ページの「ソフトウェアのアンインストール」

システム要件

この節では、Microsoft Windows ホストのシステム要件を説明します。

- Netscape Navigator または Microsoft Internet Explorer Web ブラウザ - オンラインヘルプを表示するには Web ブラウザが必要です。4.0 より前のバージョンはサポートされません。
- コンソール用の TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース - 各コンソールには TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース (Ethernet、トークンリングネットワークカード、またはモデム付きのシリアルラインなど) が必要です。各エージェントには、TCP/IP 準拠のネットワークカードインタフェースおよびドライバセット (オペレーティングシステムに付属) が必要です。
- カラーモニター - コンソールは、解像度 1024 × 768 ピクセルで 256 色のモニターを使用すると最適な表示になります。
- OS、メモリー、ディスク容量 - Microsoft Windows ホストのコンソールのシステム要件については表 3-1、エージェントのシステム要件については表 3-2 を参照してください。

表 3-1 Microsoft Windows OS のコンソールのシステム要件

Microsoft Windows OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
Windows 2000 (Service Pack 3)	256M バイト以上	40M バイト以上
Windows 2003	512M バイト (推奨)	400M バイト (推奨)

表 3-2 Microsoft Windows OS のエージェントのシステム要件

Microsoft Windows OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
Windows 2000 (Service Pack 3)	128M バイト以上、512M バイト以上を推奨。要件は、データベースなど、ほかの大型アプリケーションプログラムにより決定されます。	20M バイト以上
Windows 2003		400M バイト (推奨)

表 3-3 Microsoft Windows OS の Diagnostic Reporter の要件

Microsoft Windows OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
Windows 2000	256M バイト以上	40M バイト以上
Windows 2003	512M バイト (推奨)	400M バイト (推奨)

表 3-4 Microsoft Windows OS の CLI の要件

OS バージョン	ディスク容量
Windows 2000	3M バイト以上
Windows 2003	

ソフトウェアのインストール

Sun StorEdge Configuration Service は、次のコンポーネントから構成されます。

- Sun StorEdge Configuration Service エージェント
- Sun StorEdge Configuration Service コンソール
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter (オプションユーティリティ)
- Sun StorEdge コマンド行インタフェース (CLI)

注 – Sun StorEdge Configuration Service をインストールする前に、ご使用のアレイのリリースノートをお読みください。

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性

通信プロトコルはバージョンごとに異なります。このため、アップグレード時には、エージェントおよびコンソールの両方をインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

インストールパッケージ

Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、および CLI は、単一のインストールプログラムに含まれています。インストールパッケージ setup.exe は、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD に収められています。Sun のダウンロードセンターの Web サイトからソフトウェアをダウンロードする方法については、23 ページの「Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする」を参照してください。

▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする

Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を使用できない場合は、Sun のダウンロードセンターの Web サイトからソフトウェアをダウンロードすることができます。

1. 次の URL にアクセスします。

<http://www.sun.com/software/download/>

2. 「System Administration」 の下の 「Storage Management」 を選択し、「Sun StorEdge 3000 Family Storage Products - Related Software」 のリンクをクリックして、「Download」 ボタンをクリックします。
Sun のダウンロードセンターのページが開きます。
3. ユーザー登録がまだの場合は、登録してください。
 - a. 画面左側の下部に表示されている 「Register Now」 のリンクをクリックします。
 - b. 登録ページの必須フィールドに必要な事項を記入し、「Register」 をクリックします。
4. ログインします。
 - a. 左側の欄にユーザー名とパスワードを入力し、「Login」 をクリックします。
 - b. 「Terms of Use」 ページでライセンス条項を確認したら、「Accept」 の横の 「Yes」 をクリックします。続いて、「Continue」 ボタンをクリックします。
5. ソフトウェアのダウンロードページで、ご使用のアーカイブと OS のリンクをクリックします。
6. 表示されたダイアログボックスにダウンロードディレクトリを指定し、ファイルを保存します。
7. ダウンロードディレクトリに移動し、ダウンロードされたファイルを解凍します。
8. `filename¥windows` ディレクトリに移動します。 `filename` は、ダウンロードされたファイルの名前で置き換えます。
9. 以降の節で紹介する適切なインストール手順を選択して、実行してください。

CD からのソフトウェアのインストール

Sun StorEdge Configuration Service を管理するストレージを持つ Windows 2000 または Windows 2003 サーバーにエージェントをインストールする必要があります。コンソールは、ストレージシステムの維持管理に使用するコンピュータとワークステーションにインストールしてください。

アップグレードする場合は、エージェントおよびコンソールの両方をインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアーカイブを検出することができません。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をインストールして、コンソールを実行するには、管理特権が必要です。

注 - コンソールのインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。Sun StorEdge Configuration Service は、Java Runtime 環境ソフトウェアのリリース 1.2 と互換性があります。

Sun StorEdge Configuration Service エージェントおよびコンソールのインストール方法については、25 ページの「[Sun StorEdge Configuration Service エージェントおよびコンソールをインストールする](#)」を参照してください。Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール方法については、26 ページの「[Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールする](#)」を参照してください。Sun StorEdge CLI のインストール方法については、27 ページの「[Sun StorEdge CLI をインストールする](#)」を参照してください。

▼ Sun StorEdge Configuration Service エージェントおよびコンソールをインストールする

1. ソフトウェアインストールユーティリティが最適に機能するように、稼働中のすべてのアプリケーションを終了します。
2. アップグレードを行う前に、以前のバージョンの Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、および CLI をエージェントも含めてアンインストールしてください。
3. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、23 ページの「[Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする](#)」の手順 1～8 に続いて、**手順 5** を実行します。
4. CD からソフトウェアをインストールする場合は、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、`¥product¥windows` ディレクトリに移動します。
5. `setup.exe` をダブルクリックし、InstallShield ウィザードで「次へ」をクリックします。
6. インストールするソフトウェアコンポーネント (Sun StorEdge Configuration Service エージェントまたは Sun StorEdge Configuration Service コンソール) を選択します。
7. 「次へ」をクリックします。
8. 「Copyright Notice」ウィンドウで、「Yes」をクリックします。
9. 「Choose Destination Location」ウィンドウで、デフォルトのインストールフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。

エージェントは、`C:¥Program Files¥Sun¥ssagent` にインストールされます。コンソールは、`C:¥Program Files¥Sun¥sscs` にインストールされます。

別のフォルダにインストールするには、「参照」をクリックしてそのフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。

10. Sun StorEdge Configuration Service コンソールをインストールする場合は、「Start Copying Files」ウィンドウで「次へ」を選択します。
11. 「InstallShield Wizard Complete」ウィンドウで、「完了」をクリックします。
12. 「Select Component」ウィンドウで別のコンポーネントを選択してインストールするか、ウィンドウを閉じます。
インストールが完了すると、エージェントは自動的に起動します。

▼ Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールする

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントおよび Config Tool をインストールする前に、Sun StorEdge Configuration Service エージェントをインストールする必要があります。

1. ソフトウェアインストールユーティリティの動作が最適化されるように、稼働中のすべてのアプリケーションを終了します。
2. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、23 ページの「Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする」の手順 1～8 に続いて、手順 4 を実行します。
3. CD からソフトウェアをインストールする場合は、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、¥product¥windows ディレクトリに移動します。
4. setup.exe をダブルクリックし、InstallShield ウィザードで「次へ」をクリックします。
5. 「Sun StorEdge Diagnostic Reporter」を選択します。
6. 「次へ」をクリックします。
7. 「Copyright Notice」ウィンドウで、「Yes」をクリックします。
8. 「Choose Destination Location」ウィンドウで、デフォルトフォルダ C:¥Program Files¥Sun¥ssdgrpt をインストールし、「次へ」をクリックします。
別のフォルダにインストールするには、「参照」をクリックしてそのフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。
9. 次のウィンドウが表示されたら、「フルインストール」をクリックして「次へ」をクリックします。
 - フルインストール - 3 つのソフトウェアコンポーネント (Service、Config Tool、Mail Receiver Tool) を全部インストールします。
 - Service Installation - バックグラウンドの Service ソフトウェアだけをインストールします。Service ソフトウェアの機能は、Config Tool を使ってリモート設定することができます。

- UI Installation - Config Tool と Mail Receiver Tool だけをインストールします (Service は除く)。

注 – 管理特権を持っていない場合や、Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていない場合は、Sun StorEdge Diagnostic Reporter Service が実行されていない、または障害が発生しているというエラーメッセージが表示され、インストールを完了できません。

10. 「InstallShield Wizard Complete」ウィンドウで、「完了」をクリックします。
11. 「Select Component」ウィンドウで別のコンポーネントを選択してインストールするか、ウィンドウを閉じます。

▼ Sun StorEdge CLI をインストールする

1. ソフトウェアインストールユーティリティの動作が最適化されるように、稼働中のすべてのアプリケーションを終了します。
2. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、23 ページの「[Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする](#)」の手順 1 ~ 8 に続いて、[手順 4](#) を実行します。
3. CD からソフトウェアをインストールする場合は、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、`¥product¥windows` ディレクトリに移動します。
4. `setup.exe` をダブルクリックし、InstallShield ウィザードで「次へ」をクリックします。
5. 「Sun StorEdge コマンド行インタフェース」を選択します。
6. 「次へ」をクリックします。
7. 「Copyright Notice」ウィンドウで、「Yes」をクリックします。
8. 「Choose Destination Location」ウィンドウで、デフォルトフォルダ `C:¥Program Files¥Sun¥ssdgrpt` をインストールし、「次へ」をクリックします。
別のフォルダにインストールするには、「参照」をクリックしてそのフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。
9. 「Select Program Folder」ウィンドウで、「次へ」をクリックします。
10. 「InstallShield Wizard Complete」ウィンドウで、「完了」をクリックします。
11. 「Select Component」ウィンドウで別のコンポーネントを選択してインストールするか、ウィンドウを閉じます。

▼ Sun StorEdge Configuration Service エージェントを停止 / 起動する

1. **Microsoft Windows 2000** ホストで、「スタート」 → 「プログラム」 → 「管理ツール」 → 「コンピュータの管理」を選択します。

Microsoft Windows 2003 ホストで、「スタート」 → 「管理ツール」 → 「コンピュータの管理」を選択します。

あるいは、「マイコンピュータ」を右クリックして、「管理」を選択することもできます。

2. 「サービスとアプリケーション」をクリックします。
3. 起動または停止するサービス (**SUNWscsd Monitor**、**SUNWscsd Server**、または **SUNWscsd Startup**) を右クリックします。

▼ Sun StorEdge Diagnostic Reporter を停止 / 起動する

1. **Microsoft Windows 2000** ホストで、「スタート」 → 「プログラム」 → 「管理ツール」 → 「コンピュータの管理」を選択します。

Microsoft Windows 2003 ホストで、「スタート」 → 「管理ツール」 → 「コンピュータの管理」を選択します。

あるいは、「マイコンピュータ」を右クリックして、「管理」を選択することもできます。

2. 「サービスとアプリケーション」をクリックします。
3. **Sun StorEdge Diagnostic Reporter Server** を選択し、起動または停止するサービスを右クリックします。

ユーザーとパスワード

以降の節では、ユーザーとパスワードの作成方法について説明します。

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン

管理者がほかのクライアントやホストのストレージリソースを許可なく再割り当てしたり、削除したりできないように、管理機能にはアクセスログインとパスワードが設定されています。

3つのセキュリティーレベルに個別のパスワードを割り当ててください。このためには、プログラムで管理されるストレージデバイスを持つエージェントに、3つのユーザーを設定します。

セキュリティーレベルの名前は、次のとおりでなければなりません。

- `ssmon`
ソフトウェアの監視レベルを表します。
- `ssadmin`
ソフトウェアの管理レベルを表します。再構築、パリティチェック、およびパリティチェックのスケジュールの機能へのアクセスと、監視機能を提供します。
- `ssconfig`
ソフトウェアの構成レベルを表します。インストール担当者に、構成機能およびプログラムのその他の関連機能への直接アクセスを許可します。

3つのセキュリティーレベルには、これらの名前が必要です。インストールが完了したら、各セキュリティー名にパスワードを割り当てます。

`ssmon`、`ssadmin`、および `ssconfig` の名前は、プログラムのセキュリティーレベルのみに対応するログイン名です。

Sun StorEdge Configuration Service は、ユーザーが `ssmon` パスワードを入力せずに監視機能を実行できるように設定できます。このためには、コンソールでホストを「管理サーバー」リストに追加するときに、「自動発見」オプションを選択します。この3つのログインとパスワードは、各サーバー上でローカルに設定できます。これらのアカウントにホストごとに異なるパスワードを設定することもできます。

システム管理者は、管理対象エージェントにこの3つのログイン名を設定したあと、通常、タスクの完了に必要なセキュリティーレベルに基づいてユーザーに適切なパスワードを割り当てることにより、プログラムへのユーザーアクセスを許可します。たとえば、特定のホストで管理特権を持つ全ユーザーには、ユーザー `ssadmin` のパスワードが割り当てられます。

注 - 「管理サーバー」リストにサーバーを追加する方法については、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザーズガイド』を参照してください。

グローバルパスワード

大規模ネットワークを使用していて、1つ1つのログインを個別に設定したくない場合、複数のホストが同じパスワードを持つことができる設定になっているときは、この3つのログインを Microsoft Windows のドメインサーバー上で作成することができます。その結果、この Microsoft Windows ドメイン内にあるほかのすべてのサーバーが、それぞれのパスワードを使って3つのログインにアクセスできるようになります。

▼ Microsoft Windows 2000 または Microsoft Windows 2003 ユーザーを作成する

1. Microsoft Windows 2000 ホストで、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「システムツール」→「ローカルユーザーとグループ」を選択します。

Microsoft Windows 2003 ホストで、「スタート」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「ローカルユーザーとグループ」を選択します。

2. 「ユーザー」フォルダを右クリックし、「新しいユーザー」を選択して3つのユーザー名 (ssmon、ssconfig、および ssadmin) を追加します。
3. 「ユーザー名」にそのうち1ユーザーを追加します。必要であれば、「説明」に説明テキストも入力します。
4. パスワードを入力し、必要であれば、「ユーザーはパスワードを変更できない」と「パスワードを無期限にする」を選択します。

ソフトウェアのアンインストール

Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、Sun StorEdge コマンド行インタフェースを Microsoft Windows コンソールから削除するには、Windows の「プログラムの追加と削除」ユーティリティを使用します。

▼ Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールする

1. 「スタート」 → 「設定」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」を選択します。

Microsoft Windows 2003 ホストで、「スタート」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」を選択します。

2. 「Sun StorEdge Configuration Service エージェント」を選択し、「変更と削除」を選択します。

プロンプトに対して適切に答えます。

3. 「Sun StorEdge Configuration Service コンソール」を選択し、「変更と削除」を選択します。

プロンプトに対して適切に答えます。

▼ Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする

Sun StorEdge Diagnostic Reporter を削除するには、Microsoft Windows の「プログラムの追加と削除」ユーティリティを使用してください。

1. Microsoft Windows 2000 ホストで、「スタート」 → 「設定」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」を選択します。

Microsoft Windows 2003 ホストで、「スタート」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」を選択します。

2. 「Sun StorEdge Diagnostic Reporter」を選択し、「変更と削除」を選択します。

プロンプトに対して適切に答えます。

▼ Sun StorEdge CLI をアンインストールする

CLI を削除するには、Microsoft Windows の「プログラムの追加と削除」ユーティリティを使用してください。

1. **Microsoft Windows 2000** ホストで、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を選択します。
Microsoft Windows 2003 ホストで、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を選択します。
2. 「Sun StorEdge 3000 Family CLI」を選択し、「変更と削除」を選択します。
プロンプトに対して適切に答えます。

Linux ホストへの Sun StorEdge Configuration Service のインストール

この章では、Sun Linux または Red Hat Linux ホストに Sun StorEdge Configuration Service コンソールおよびエージェントをインストールする手順を説明します。この章では、次の項目について説明します。

- 33 ページの「システム要件」
- 34 ページの「ソフトウェアのインストール」
- 39 ページの「ユーザーとパスワード」
- 41 ページの「Sun StorEdge Configuration Service のアンインストール」

システム要件

この節では、Linux ホストのシステム要件を説明します。

- Netscape Navigator - オンラインヘルプを表示するには Web ブラウザが必要です。4.0 より前のバージョンはサポートされません。
- TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース - 各コンソールには TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース (Ethernet、トークンリングネットワークカード、またはモデム付きのシリアル回線など) が必要です。各エージェントには、TCP/IP 準拠のネットワークインタフェースおよびドライバセット (オペレーティングシステムに付属) が必要です。
- カラーモニター - コンソールは、解像度 1024 × 768 ピクセルで 256 色のモニターを使用すると最適な表示になります。
- OS、メモリー、ディスク容量 - Linux OS のコンソールのシステム要件については表 4-1、Linux OS のエージェントのシステム要件については表 4-2 を参照してください。

表 4-1 Linux OS のコンソールのシステム要件

Linux OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
Sun™ LX50 サーバーの Sun Linux 5.0 (SCSI のみ)	256M バイト以上	40M バイト以上
Red Hat Advanced Server 2.1	512M バイト (推奨)	100M バイト (推奨)

表 4-2 Linux OS のエージェントのシステム要件

Linux OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
Sun LX50 サーバーの Sun Linux 5.0 (SCSI のみ)	128M バイト以上	20M バイト以上
Red Hat Advanced Server 2.1	512M バイト (推奨)	100M バイト (推奨)

ソフトウェアのインストール

Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアには、次のコンポーネントが収められています。

- Sun StorEdge Configuration Service エージェント
- Sun StorEdge Configuration Service コンソール
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter (オプションユーティリティ)
- コマンド行インタフェース (CLI)

Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール方法については、[63 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール」](#)を参照してください。CLI のインストール方法については、[71 ページの「コマンド行インタフェースのインストールとアクセス」](#)を参照してください。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をインストールする前に、ご使用のアレイのリリースノートをお読みください。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をインストールし、コンソールを実行するには、スーパーユーザーになる必要があります。

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性

通信プロトコルはバージョンごとに異なります。このため、アップグレード時には、エージェントおよびコンソールの両方をインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

インストールパッケージ

インストールパッケージは、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD にあり、次のファイルが含まれています。

- SUNWscsd.rpm - Sun StorEdge Configuration Service エージェント
- SUNWscsu.rpm - Sun StorEdge Configuration Service コンソール

Sun のダウンロードセンターの Web サイトからソフトウェアをダウンロードする方法については、[36 ページの「Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする」](#)を参照してください。

Sun StorEdge Configuration Service を構成する各ホストにエージェントをインストールしてください。コンソールは、ストレージシステムの維持管理に使用するコンピュータとワークステーションにインストールします。

コンソールはホストまたは任意のクライアントシステムにインストールできます。エージェントは、ストレージが接続されるホストにインストールしてください。

エージェント、コンソール、またはその両方をインストールするには、次の手順に従います。プログラムを実行するには、エージェントとコンソールをそれぞれ 1 つ以上インストールする必要があります。

アップグレードする場合は、エージェントおよびコンソールの両方をインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

注 - Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。Sun StorEdge Configuration Service は、Java Runtime 環境ソフトウェアのリリース 1.2 以上と互換性があります。

▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする

Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を利用できない場合は、Sun のダウンロードセンターからソフトウェアをダウンロードすることができます。

1. 次の URL にアクセスします。

<http://www.sun.com/software/download/>

2. 「System Administration」 の下の 「Storage Management」 を選択し、「Sun StorEdge 3000 Family Storage Products - Related Software」 のリンクをクリックして、「Download」 ボタンをクリックします。

Sun のダウンロードセンターのページが開きます。

3. ユーザー登録がまだの場合は、登録してください。
 - a. 画面左側の下部に表示されている 「Register Now」 のリンクをクリックします。
 - b. 登録ページの必須フィールドに必要事項を記入し、「Register」 をクリックします。
4. ログインします。
 - a. 左側の欄にユーザー名とパスワードを入力し、「Login」 をクリックします。
 - b. 「Terms of Use」 ページでライセンス条項を確認したら、「Accept」 の横の 「Yes」 をクリックします。続いて、「Continue」 ボタンをクリックします。
5. ソフトウェアのダウンロードページで、ご使用のアーカイブと OS のリンクをクリックします。
6. 表示されたダイアログボックスにダウンロードディレクトリを指定し、ファイルを保存します。
7. ダウンロードディレクトリに移動し、ダウンロードされたファイルを解凍します。
8. 次のように入力します。

```
cd filename/linux
```

filename は、ダウンロードされたファイルの名前で置き換えます。

9. 37 ページの 「CD からエージェントおよびコンソールをインストールする」 の手順 4 に進みます。

▼ CD からエージェントおよびコンソールをインストールする

1. Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていない場合は、ただちにインストールします。

Java Runtime 環境ソフトウェアのバージョンをチェックするには、次のように入力します。

```
# java -version
```

2. ファイルシステムに CD がマウントされていない場合は、マウントします。

```
# cd mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

3. Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、次のように入力します。

```
# cd /mnt/cdrom/product/linux
```

4. 次のいずれかの方法でパッケージをインストールします。

- エージェントだけをインストールする場合は、次のように入力します。

```
# rpm -ivh SUNWscsd.rpm
```

- コンソールだけをインストールする場合は、次のように入力します。

```
# rpm -ivh SUNWscsu.rpm
```

5. オンラインヘルプを表示するには、コンソールのインストール先のシステムに Netscape Navigator をインストールします。

4.0 より前のバージョンはサポートされません。Netscape Navigator が見つからない場合、パスを指定するよう求められます。

- a. /opt/SUNWsscs/sscsconsole に移動し、次のように入力します。

```
./config_sscon
```

- b. Web ブラウザの絶対パスを入力します。

注 – Web ブラウザのパス名はいつ指定してもかまいませんが、必ず指定してください。そうしないとオンラインヘルプにアクセスできません。

エージェントのインストールが完了すると、コンポーネントが正常にインストールされ、起動したことを示す次のメッセージが表示されます。

```
# rpm -ivh SUNWscsd.rpm Preparing...
##### [100%] 1:SUNWscsd
##### [100%] add user ssmon add
user ssadmin add user ssconfig Configuring and starting Sun
StorEdge(tm) Configuration Service daemons[ OK ]
Starting Sun StorEdge(tm) Configuration Service agent daemon[ OK ]
Starting Sun StorEdge(tm) Configuration Service agent monitor daemon[
OK ]
```

コンソールのインストールが完了すると、コンポーネントが正常にインストールされ、起動したことを示す次のメッセージが表示されます。

```
# rpm -ivh SUNWscsu.rpm Preparing...
##### [100%] 1:SUNWscsu
##### [100%]
Installation completed successfully!
```

エージェントおよびコンソールは /opt/SUNWsscs/sscsconsole にインストールされます。

▼ エージェントを停止 / 起動する

エージェントは、/etc/init.d/ssagent にある実行コマンドスクリプトを使って、手動で停止 / 起動できます。

1. エージェントを停止するには、次のように入力します。

```
# /etc/init.d/ssagent stop
```

2. エージェントを起動するには、次のように入力します。

```
# /etc/init.d/ssagent start
```

または

```
# service ssagent start
```

注 - エージェントを起動するには、スーパーユーザーになる必要があります。

最初に stop を実行せずに start を実行すると、スクリプトにより、停止中のエージェントが再起動します。すべてのエージェントが (たとえば stop オプションによって) 停止していた場合は、実行環境が再構成されたあと、エージェントが再起動します。

3. エージェントが実行中かどうか確認するには、次のように入力します。

```
# ps -e | grep ss
```

または

```
# service ssagent status
```

ssmon と ssserver の両方が出力されます。SNMP トラップ生成を有効にしてあった場合は、その名前 sstrapped も表示されます。

ユーザーとパスワード

以降の節では、ユーザーとパスワードの作成方法について説明します。

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン

Linux ホストでプログラムを実行する場合、管理セキュリティーレベルはインストール時に自動的に作成されます。必要な操作は、アクセス権レベルに応じてパスワードを設定し、ユーザーを割り当てることです。

管理者がほかのクライアントやホストのストレージリソースを許可なく再割り当てしたり、削除したりできないように、管理機能にはアクセスログインとパスワードが設定されています。

プログラムの 3 つのセキュリティーレベルに個別のパスワードを割り当ててください。このためには、プログラムで管理されるストレージデバイスを持つエージェントに、3 つのユーザーを設定します。この 3 つのユーザーは、エージェントのインストール時に自動的に追加されます。

セキュリティーレベルの名前は、次のとおりでなければなりません。

■ `ssmon`

ソフトウェアの監視レベルを表します。

■ `ssadmin`

ソフトウェアの管理レベルを表します。再構築、パリティチェック、およびパリティチェックのスケジュールの機能へのアクセスと、監視機能を提供します。

■ `ssconfig`

ソフトウェアの構成レベルを表します。インストール担当者に、構成機能およびプログラムのその他の関連機能への直接アクセスを許可します。

3つのセキュリティーレベルには、これらの名前が必要です。インストールが完了したら、各セキュリティー名にパスワードを割り当てます。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールすると、ユーザーパスワードは削除されます。以前の構成が存在する場合は、`ssmon`、`ssadmin`、および `ssconfig` のパスワードをそれぞれ再入力する必要があります。

`ssmon`、`ssadmin`、および `ssconfig` の名前は、プログラムのセキュリティーレベルのみに対応するログイン名です。UNIX オペレーティング環境では、対話型ログインでこれらのユーザー ID が使用されないように、これらのアカウントのデフォルトシェルは `/bin/false` に割り当てられています。

Sun StorEdge Configuration Service は、ユーザーが `ssmon` パスワードを入力せずに監視機能を実行できるように設定できます。このためには、コンソールでホストを「管理サーバー」リストに追加するときに、「自動発見」オプションを選択します。この3つのログインとパスワードは、各サーバー上でローカルに設定できます。必要であれば、これらのアカウントにホストごとに異なるパスワードを設定することもできます。

システム管理者は、管理対象エージェントにこの3つのログイン名を設定したあと、通常、タスクの完了に必要なセキュリティーレベルに基づいてユーザーに適切なパスワードを割り当てることにより、プログラムへのユーザーアクセスを許可します。たとえば、特定のホストで管理特権を持つ全ユーザーには、ユーザー `ssadmin` のパスワードが割り当てられます。

注 – 「管理サーバー」リストにサーバーを追加する方法については、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザーズガイド』を参照してください。

▼ パスワードとアクセス権を作成する

各新規ユーザーにパスワードを作成するには、次のように入力します。

```
# passwd user-name
```

確認のため、同じパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。

管理者は、グループのアクセス権を変更することもできます。グループのアクセス権は、インストール時に、`/opt/SUNWsscs/sscsconsole` ディレクトリにある `svrlist.dat` ファイルで定義されています。

コンソールは Java テクノロジベースのユーティリティであるため、**Sun StorEdge Configuration Service** が作成するファイルのアクセス権や所有権を制御する機能は提供しません。`svrlist.dat` ファイルは、各種の ASCII テキストプロセッサで容易に読み取ることができます。このファイルには、ユーザー `ssmon` の暗号化されたパスワードが含まれており、復号化が可能です。

注 – 監視するエージェントをすべて追加したあとで、`svrlist.dat` のアクセス権とグループ所有権を変更しないでください。

Sun StorEdge Configuration Service のアンインストール

コンソールまたはエージェントをアップグレードする場合は、以前のバージョンの **Sun StorEdge Configuration Service** をアンインストールします。インストール後に作成されたファイルはアップグレード後の環境でも有効なので、削除されません。

▼ Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールする

`rpm -e` コマンドに続いて、アンインストールするパッケージ、`SUNWscsd` (エージェント) または `SUNWscsu` (コンソール) を指定します。

```
# rpm -e SUNWscsd
# rpm -e SUNWscsu
```


HP-UX ホストへの Sun StorEdge Configuration Service のインストール

この章では、HP-UX ホストに Sun StorEdge Configuration Service コンソールおよびエージェントをインストールする手順を説明します。この章では、次の項目について説明します。

- [43 ページの「システム要件」](#)
- [44 ページの「ソフトウェアのインストール」](#)
- [49 ページの「ユーザーとパスワード」](#)
- [51 ページの「Sun StorEdge Configuration Service のアンインストール」](#)

システム要件

この節では、HP-UX ホストのシステム要件を説明します。

- Netscape Navigator - オンラインヘルプを表示するには Web ブラウザが必要です。4.6 より前のバージョンはサポートされません。
- TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース - 各コンソールには TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース (Ethernet、トークンリングネットワークカード、またはモデム付きのシリアル回線など) が必要です。各エージェントには、TCP/IP 準拠のネットワークカードインタフェースおよびドライバセット (オペレーティングシステムに付属) が必要です。
- カラーモニター - コンソールは、解像度 1024 × 768 ピクセルで 256 色のモニターを使用すると最適な表示になります。
- OS、メモリー、ディスク容量 - HP-UX OS のコンソールのシステム要件については [表 5-1](#)、エージェントのシステム要件については [表 5-2](#) を参照してください。

表 5-1 HP-UX OS のコンソールシステム要件

HP-UX OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
11.0 および 11i	256M バイト以上 512M バイト (推奨)	40M バイト以上 100M バイト (推奨)

表 5-2 HP-UX OS のエージェントのシステム要件

HP-UX OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
11.0 および 11i	128M バイト以上 512M バイト (推奨)	10M バイト以上 100M バイト (推奨)

ソフトウェアのインストール

Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアには、次のコンポーネントが収められています。

- Sun StorEdge Configuration Service エージェント
- Sun StorEdge Configuration Service コンソール
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter (オプションユーティリティ)
- コマンド行インタフェース (CLI)

Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール方法については、[63 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール」](#)を参照してください。CLI のインストール方法については、[71 ページの「コマンド行インタフェースのインストールとアクセス」](#)を参照してください。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をインストールする前に、ご使用の阵列のリリースノートをお読みください。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をインストールし、コンソールを実行するには、スーパーユーザーになる必要があります。

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性

通信プロトコルはバージョンごとに異なります。このため、アップグレード時には、エージェントおよびコンソールの両方をインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

インストールパッケージ

インストールパッケージは、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD にあり、次のファイルが含まれています。

- SUNWscsd.depot - Sun StorEdge Configuration Service エージェント
- SUNWscsu.depot - Sun StorEdge Configuration Service コンソール

Sun のダウンロードセンターの Web サイトからソフトウェアをダウンロードする方法については、[46 ページの「Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする」](#)を参照してください。

Sun StorEdge Configuration Service を構成する各ホストにエージェントをインストールしてください。コンソールは、ストレージシステムの維持管理に使用するコンピュータとワークステーションにインストールします。

コンソールはホストまたは任意のクライアントシステムにインストールできます。エージェントは、ストレージが接続されるホストにインストールしてください。

エージェント、コンソール、またはその両方をインストールするには、次の手順に従います。プログラムを実行するには、エージェントとコンソールをそれぞれ 1 つ以上インストールする必要があります。

アップグレードする場合は、エージェントおよびコンソールの両方をインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

注 - リモートログインホストに Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。Sun StorEdge Configuration Service は、Java Runtime 環境ソフトウェアのリリース 1.2 以上と互換性があります。リモートログインホスト環境を使用しない場合は、Sun StorEdge Configuration Service をインストールする HP-UX マシンにインストールする必要があります。

▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする

Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を利用できない場合は、Sun のダウンロードセンターからソフトウェアをダウンロードすることができます。

1. 次の URL にアクセスします。

<http://www.sun.com/software/download/>

2. 「System Administration」 の下の 「Storage Management」 を選択し、「Sun StorEdge 3000 Family Storage Products - Related Software」 のリンクをクリックして、「Download」 ボタンをクリックします。

Sun のダウンロードセンターのページが開きます。

3. ユーザー登録がまだの場合は、登録してください。

- a. 画面左側の下部に表示されている 「Register Now」 のリンクをクリックします。

- b. 登録ページの必須フィールドに必要な事項を記入し、「Register」 をクリックします。

4. ログインします。

- a. 左側の欄にユーザー名とパスワードを入力し、「Login」 をクリックします。

- b. 「Terms of Use」 ページでライセンス条項を確認したら、「Accept」 の横の 「Yes」 をクリックします。続いて、「Continue」 ボタンをクリックします。

5. ソフトウェアのダウンロードページで、ご使用のアーカイブと OS のリンクをクリックします。

6. 表示されたダイアログボックスにダウンロードディレクトリを指定し、ファイルを保存します。

7. ダウンロードディレクトリに移動し、ダウンロードされたファイルを解凍します。

8. 次のように入力します。

```
cd filename /hpux
```

filename は、ダウンロードされたファイルの名前で置き換えます。

9. エージェントをインストールするには、次のように入力します。

```
# swinstall -s SUNWscsd.depot
```

10. コンソールをインストールするには、次のように入力します。

```
# swinstall -s SUNWscsu.depot
```

エージェントは /opt/SUNWsscscs/ssagent にインストールされます。コンソールは /opt/SUNWsscscs/sscscsconsole にインストールされます。

▼ CD からエージェントおよびコンソールをインストールする

1. Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていない場合は、ただちにインストールします。

Java Runtime 環境ソフトウェアのバージョンをチェックするには、次のように入力します。

```
# java -version
```

2. CD 用のマウントポイントが作成されていることを確認します。
3. Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入します。
4. CD のデバイスエントリを決めます。

```
# ioscan -fnC disk
```

デバイスエントリを、たとえば次のように示します。

```
/dev/dsk/c2t5d0
```

5. ファイルシステムに CD がマウントされていない場合は、マウントします。

```
# mount -r device entry mounting point
```

6. エージェントをインストールするには、次のように入力します。

```
# swinstall -s /cdrom/product/hpux/SUNWscsd.depot
```

7. コンソールをインストールするには、次のように入力します。

```
# swinstall -s /cdrom/product/hpux/SUNWscsu.depot
```

エージェントは /opt/SUNWsscs/ssagent にインストールされます。コンソールは /opt/SUNWsscs/sscsconsole にインストールされます。

▼ コンソールを表示する

コンソールを起動する前に、コンソールを表示するディスプレイを設定する必要があります。

1. リモートログインホストの名前を指定し、Return キーを押します。

リモートログインホスト環境を使用しない場合は、HP-UX マシンの名前を指定します。

```
# xterm -display ipaddress of remote login host:0.0 -title name of remote login host or  
HP-UX machine
```

端末ウィンドウが表示され、前の手順で指定されたリモートログインホストまたは HP-UX マシンの名前が確認されます。『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザーズガイド』で説明されているとおり、これは、Sun StorEdge Configuration Service を起動するターミナルウィンドウです。

2. デフォルトの Web ブラウザを指定します。

オンラインヘルプを表示するには、コンソールのインストール先のシステムに Netscape Navigator をインストールします。Netscape Navigator は通常、/opt/netcape/netcape または /usr/bin/netcape にインストールされます。

注 – Web ブラウザのパス名はいつ指定してもかまいませんが、必ず指定してください。そうしないとオンラインヘルプにアクセスできません。

▼ エージェントを停止 / 起動する

エージェントは、手動で停止 / 起動することができます。

1. エージェントを停止するには、次のように入力します。

```
# /sbin/init.d/ssagent stop
```

2. エージェントを起動するには、次のように入力します。

```
# /sbin/init.d/ssagent start
```

注 - エージェントを起動するには、スーパーユーザーになる必要があります。

最初に stop を実行せずに start を実行すると、スクリプトにより、停止中のエージェントが再起動します。すべてのエージェントが (たとえば stop オプションによって) 停止していた場合は、実行環境が再構成されたあと、エージェントが再起動します。

3. エージェントが実行中かどうか確認するには、次のように入力します。

```
# ps -e | grep ss
```

ssmon と sssserver の両方が出力されます。SNMP トラップ生成を有効にしてあった場合は、その名前 sstrapd も表示されます。

ユーザーとパスワード

以降の節では、ユーザーとパスワードの作成方法について説明します。

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン

HP-UX ホストでプログラムを実行する場合、管理セキュリティーレベルはインストール時に自動的に作成されます。必要な操作は、アクセス権レベルに応じてパスワードを設定し、ユーザーを割り当てることです。

管理者がほかのクライアントやホストのストレージリソースを許可なく再割り当てしたり、削除したりできないように、管理機能にはアクセスログインとパスワードが設定されています。

プログラムの 3 つのセキュリティーレベルに個別のパスワードを割り当ててください。このためには、プログラムで管理されるストレージデバイスを持つエージェントに、3 つのユーザーを設定します。この 3 つのユーザーは、エージェントのインストール時に自動的に追加されます。

セキュリティーレベルの名前は、次のとおりでなければなりません。

- ssmon

ソフトウェアの監視レベルを表します。

■ **ssadmin**

ソフトウェアの管理レベルを表します。再構築、パリティチェック、およびパリティチェックのスケジュールの機能へのアクセスと、監視機能を提供します。

■ **ssconfig**

ソフトウェアの構成レベルを表します。インストール担当者に、構成機能およびプログラムのその他の関連機能への直接アクセスを許可します。

3つのセキュリティーレベルには、これらの名前が必要です。インストールが完了したら、各セキュリティー名にパスワードを割り当てます。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールすると、ユーザーパスワードは削除されます。以前の構成が存在する場合、ssmon、ssadmin、および ssconfig のパスワードを再入力する必要があります。

ssmon、ssadmin、および ssconfig の名前は、プログラムのセキュリティーレベルのみに対応するログイン名です。UNIX オペレーティング環境では、対話型ログインでこれらのユーザー ID が使用されないように、これらのアカウントのデフォルトシェルは /bin/false に割り当てられています。

Sun StorEdge Configuration Service は、ユーザーが ssmon パスワードを入力せずに監視機能を実行できるように設定できます。このためには、コンソールでホストを「管理サーバー」リストに追加するときに、「自動発見」オプションを選択します。この3つのログインとパスワードは、各サーバー上でローカルに設定できます。必要であれば、これらのアカウントにホストごとに異なるパスワードを設定することもできます。

システム管理者は、管理対象エージェントにこの3つのログイン名を設定したあと、通常、タスクの完了に必要なセキュリティーレベルに基づいてユーザーに適切なパスワードを割り当てることにより、プログラムへのユーザーアクセスを許可します。たとえば、特定のサーバーで管理特権を持つ全ユーザーには、ユーザー ssadmin のパスワードが割り当てられます。

注 – 「管理サーバー」リストにサーバーを追加するには、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザーズガイド』を参照してください。

▼ パスワードとアクセス権を作成する

各新規ユーザーにパスワードを作成するには、次のように入力します。

```
# passwd user-name
```

確認のため、同じパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。

管理者は、グループのアクセス権を変更することもできます。グループのアクセス権は、インストール時に、/opt/SUNWsscscs/sscscsconsole ディレクトリにある svrlist.dat ファイルで定義されています。

コンソールは Java テクノロジベースのユーティリティであるため、Sun StorEdge Configuration Service が作成するファイルのアクセス権や所有権を制御する機能は提供しません。svrlist.dat ファイルは、各種の ASCII テキストプロセッサで容易に読み取ることができます。このファイルには、ユーザー ssmom の暗号化されたパスワードが含まれており、復号化が可能です。

注 – 監視するエージェントをすべて追加したあとで、svrlist.dat のアクセス権とグループ所有権を変更しないでください。

Sun StorEdge Configuration Service のアンインストール

コンソールまたはエージェントをアップグレードする場合は、以前のバージョンの Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールします。インストール後に作成されたファイルはアップグレード後の環境でも有効なので、削除されません。

▼ Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールする

swremove コマンドに続いて、アンインストールするパッケージ SUNWscsd (エージェント) または SUNWscsu (コンソール) を指定します。

```
# swremove SUNWscsd
# swremove SUNWscsu
```


IBM AIX ホストへの Sun StorEdge Configuration Service のインストール

この章では、IBM AIX ホストに Sun StorEdge Configuration Service コンソールおよびエージェントをインストールする手順を説明します。この章では、次の項目について説明します。

- 53 ページの「システム要件」
- 54 ページの「ソフトウェアのインストール」
- 59 ページの「ユーザーとパスワード」
- 61 ページの「Sun StorEdge Configuration Service のアンインストール」

システム要件

この節では、IBM AIX ホストのシステム要件を説明します。

- Netscape Navigator - オンラインヘルプを表示するには Web ブラウザが必要です。4.08 より前のバージョンはサポートされません。
- TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース - 各コンソールには TCP/IP 準拠のネットワークインタフェース (Ethernet、トークンリングネットワークカード、またはモデム付きのシリアル回線など) が必要です。各エージェントには、TCP/IP 準拠のネットワークインタフェースおよびドライバセット (オペレーティングシステムに付属) が必要です。
- カラーモニター - コンソールは、解像度 1024 × 768 ピクセルで 256 色のモニターを使用すると最適な表示になります。
- OS、メモリ、ディスク容量 - IBM AIX OS のコンソールのシステム要件については表 6-1、エージェントのシステム要件については表 6-2 を参照してください。

表 6-1 IBM AIX OS のコンソールのシステム要件

IBM AIX OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
5.1L と 5.2L	256M バイト以上 512M バイト (推奨)	40M バイト以上 100M バイト (推奨)

表 6-2 IBM AIX OS のエージェントのシステム要件

IBM AIX OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
5.1L と 5.2L	128M バイト以上 512M バイト (推奨)	20M バイト以上 100M バイト (推奨)

ソフトウェアのインストール

Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアには、次のコンポーネントが収められています。

- Sun StorEdge Configuration Service エージェント
- Sun StorEdge Configuration Service コンソール
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter (オプションユーティリティ)
- コマンド行インタフェース (CLI)

Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール方法については、[63 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール」](#)を参照してください。CLI のインストール方法については、[71 ページの「コマンド行インタフェースのインストールとアクセス」](#)を参照してください。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をインストールする前に、ご使用の阵列のリリースノートをお読みください。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をインストールし、コンソールを実行するには、スーパーユーザーになる必要があります。

ソフトウェアのアップグレード - エージェントおよびコンソールのバージョン互換性

通信プロトコルはバージョンごとに異なります。このため、アップグレード時には、エージェントおよびコンソールの両方をインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

インストールパッケージ

インストールパッケージは、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD にあり、次のファイルが含まれています。

- SUNWscsd.bff - Sun StorEdge Configuration Service エージェント
- SUNWscsu.bff - Sun StorEdge Configuration Service コンソール

Sun のダウンロードセンターの Web サイトからソフトウェアをダウンロードする方法については、[56 ページの「Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする」](#)を参照してください。

Sun StorEdge Configuration Service を構成する各ホストにエージェントをインストールしてください。コンソールは、ストレージシステムの維持管理に使用するコンピュータとワークステーションにインストールします。

コンソールはホストまたは任意のクライアントシステムにインストールできます。エージェントは、ストレージが接続されるホストにインストールしてください。

エージェント、コンソール、またはその両方をインストールするには、次の手順に従います。プログラムを実行するには、エージェントとコンソールをそれぞれ 1 つ以上インストールする必要があります。

アップグレードする場合は、エージェントとコンソールの両方をインストールする必要があります。異なるバージョンのエージェントおよびコンソールが共存している場合、Sun StorEdge Configuration Service は以前に構成されたアレイを検出することができません。

注 - Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。Sun StorEdge Configuration Service は、Java Runtime 環境ソフトウェアのリリース 1.3 と互換性があります。

▼ Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする

Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を利用できない場合は、Sun のダウンロードセンターからソフトウェアをダウンロードすることができます。

1. 次の URL にアクセスします。

<http://www.sun.com/software/download/>

2. 「System Administration」 の下の 「Storage Management」 を選択し、「Sun StorEdge 3000 Family Storage Products - Related Software」 のリンクをクリックして、「Download」 ボタンをクリックします。

Sun のダウンロードセンターのページが開きます。

3. ユーザー登録がまだの場合は、登録してください。

- a. 画面左側の下部に表示されている 「Register Now」 のリンクをクリックします。
- b. 登録ページの必須フィールドに必要事項を記入し、「Register」 をクリックします。

4. ログインします。

- a. 左側の欄にユーザー名とパスワードを入力し、「Login」 をクリックします。
- b. 「Terms of Use」 ページでライセンス条項を確認したら、「Accept」 の横の 「Yes」 をクリックします。続いて、「Continue」 ボタンをクリックします。

5. ソフトウェアのダウンロードページで、ご使用のアーカイブと OS のリンクをクリックします。

6. 表示されたダイアログボックスにダウンロードディレクトリを指定し、ファイルを保存します。

7. ダウンロードディレクトリに移動し、ダウンロードされたファイルを解凍します。

8. 次のように入力します。

```
cd filename /aix
```

filename は、ダウンロードされたファイルの名前で置き換えます。

9. エージェントをインストールするには、次のように入力します。

```
# swinstall -s SUNWscsd.bff
```

10. コンソールをインストールするには、次のように入力します。

```
# swinstall -s SUNWscsu.bff
```

エージェントまたはコンソールのインストールが完了すると、「Installation Summary」の「Result」列に、「SUCCESS」が表示されます。

11. デフォルトの Web ブラウザのパスを指定します。

Sun StorEdge Configuration Service オンラインヘルプを表示するには、コンソールをインストールするシステムに Netscape Navigator をインストールする必要があります。4.08 より前のバージョンはサポートされません。Web ブラウザが検出されない場合、Web ブラウザのパスを指定するよう求められます。

Netscape Navigator は通常、/usr/bin/netscape にインストールされます。

注 – Web ブラウザのパス名はいつ指定してもかまいませんが、必ず指定してください。そうしないとオンラインヘルプにアクセスできません。

エージェントは /usr/SUNWsscs/ssagent にインストールされます。コンソールは /usr/SUNWsscs/sscsconsole にインストールされます。

▼ CD からエージェントおよびコンソールをインストールする

1. Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていない場合は、ただちにインストールします。

Java Runtime 環境ソフトウェアのバージョンをチェックするには、次のように入力します。

```
# java -version
```

2. Sun StorEdge Professional Storage Manager CD を挿入し、次のように入力します。

```
# mount -v cdrfs -o ro CD-ROM-drive
```

3. エージェントをインストールするには、次のように入力します。

```
# installp -a -d /cdrom/product/aix/SUNWscsd.bff
```

4. コンソールをインストールするには、次のように入力します。

```
# installp -a -d /cdrom/product/aix/SUNWscsu.bff
```

エージェントまたはコンソールのインストールが完了すると、「Installation Summary」の「Result」列に、「SUCCESS」が表示されます。

5. デフォルトの Web ブラウザのパスを指定します。

Sun StorEdge Configuration Service オンラインヘルプを表示するには、コンソールをインストールするシステムに Netscape Navigator をインストールする必要があります。4.08 より前のバージョンはサポートされません。Web ブラウザが検出されない場合、Web ブラウザのパスを指定するよう求められます。

Netscape Navigator は通常、/usr/bin/netscape にインストールされます。

注 – Web ブラウザのパス名はいつ指定してもかまいませんが、必ず指定してください。そうしないとオンラインヘルプにアクセスできません。

エージェントは /usr/SUNWsscs/ssagent にインストールされます。コンソールは /usr/SUNWsscs/sscsconsole にインストールされます。

▼ エージェントを停止 / 起動する

エージェントは、手動で停止 / 起動することができます。

1. エージェントを停止するには、次のように入力します。

```
# /etc/ssagent.rc stop
```

2. エージェントを起動するには、次のように入力します。

```
# /etc/ssagent.rc start
```

注 – エージェントを起動するには、スーパーユーザーになる必要があります。

最初に stop を実行せずに start を実行すると、スクリプトにより、停止中のエージェントが再起動します。すべてのエージェントが (たとえば stop オプションで) 停止されていた場合、スクリプトは実行環境を再設定してからデーモンを再起動します。

3. エージェントが実行中かどうか確認するには、次のように入力します。

```
# ps -e | grep ss
```

ssmon と sssserver の両方が出力されます。SNMP トラップ生成を有効にしてあった場合は、その名前 sstrapd も表示されます。

ユーザーとパスワード

以降の節では、ユーザーとパスワードの作成方法について説明します。

管理 (ユーザー) セキュリティーレベルとガイドライン

IBM AIX ホストでプログラムを実行する場合、管理セキュリティーレベルはインストール時に自動的に作成されます。必要な操作は、アクセス権レベルに応じてパスワードを設定し、ユーザーを割り当てることです。

管理者がほかのクライアントやホストのストレージリソースを許可なく再割り当てしたり、削除したりできないように、管理機能にはアクセスログインとパスワードが設定されています。

プログラムの 3 つのセキュリティーレベルに個別のパスワードを割り当ててください。このためには、プログラムで管理されるストレージデバイスを持つエージェントに、3 つのユーザーを設定します。この 3 つのユーザーは、エージェントのインストール時に自動的に追加されます。

セキュリティーレベルの名前は、次のとおりでなければなりません。

- ssmon
ソフトウェアの監視レベルを表します。
- ssadmin
ソフトウェアの管理レベルを表します。再構築、パリティチェック、およびパリティチェックのスケジュールの機能へのアクセスと、監視機能を提供します。
- ssconfig
ソフトウェアの構成レベルを表します。インストール担当者に、構成機能およびプログラムのその他の関連機能への直接アクセスを許可します。

3 つのセキュリティーレベルには、これらの名前が必要です。インストールが完了したら、各セキュリティー名にパスワードを割り当てます。

注 – Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールすると、ユーザーパスワードは削除されます。以前の構成が存在する場合、ssmon、ssadmin、および ssconfig のパスワードを再入力する必要があります。

ssmon、ssadmin、および ssconfig の名前は、プログラムのセキュリティレベルのみに対応するログイン名です。UNIX オペレーティング環境では、対話型ログインでこれらのユーザー ID が使用されないように、これらのアカウントのデフォルトシェルは /bin/false に割り当てられています。

Sun StorEdge Configuration Service は、ユーザーが ssmon パスワードを入力せずに監視機能を実行できるように設定できます。このためには、コンソールでホストを「管理サーバー」リストに追加するときに、「自動発見」オプションを選択します。この3つのログインとパスワードは、各サーバー上でローカルに設定できます。必要であれば、これらのアカウントにホストごとに異なるパスワードを設定することもできます。

システム管理者は、管理対象エージェントにこの3つのログイン名を設定したあと、通常、タスクの完了に必要なセキュリティレベルに基づいてユーザーに適切なパスワードを割り当てることにより、プログラムへのユーザーアクセスを許可します。たとえば、特定のサーバーで管理特権を持つ全ユーザーには、ユーザー ssadmin のパスワードが割り当てられます。

注 – 「管理サーバー」リストにサーバーを追加する方法については、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザーズガイド』を参照してください。

▼ パスワードとアクセス権を作成する

各新規ユーザーにパスワードを作成するには、次のように入力します。

```
# passwd user-name
```

確認のため、同じパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。

管理者は、グループのアクセス権を変更することもできます。グループのアクセス権は、インストール時に、/usr/SUNWsscs/sscsconsole ディレクトリにある svrlist.dat ファイルで定義されています。

コンソールは Java テクノロジベースのユーティリティであるため、Sun StorEdge Configuration Service が作成するファイルのアクセス権や所有権を制御する機能は提供しません。svrlist.dat ファイルは、各種の ASCII テキストプロセッサで容易に読み取ることができます。このファイルには、ユーザー ssmon の暗号化されたパスワードが含まれており、復号化が可能です。

注 – 監視するエージェントをすべて追加したあとで、svrlist.dat のアクセス権とグループ所有権を変更しないでください。

Sun StorEdge Configuration Service のアンインストール

コンソールまたはエージェントをアップグレードする場合は、以前のバージョンの Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールします。インストール後に作成されたファイルはアップグレード後の環境でも有効なので、削除されません。

▼ Sun StorEdge Configuration Service をアンインストールする

installp -u コマンドに続いて、アンインストールするパッケージ SUNWscsd (エージェント) または SUNWscsu (コンソール) を指定します。

```
# installp -u SUNWscsd
# installp -u SUNWscsu
```


Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール

この章では、Linux、HP-UX、または IBM AIX ホストに Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールする手順を説明します。Sun StorEdge Diagnostic Reporter を Solaris ホストにインストールする手順については、[5 ページの「Solaris ホストへのソフトウェアのインストール」](#)を参照してください。Sun StorEdge Diagnostic Reporter を Microsoft Windows ホストにインストールする手順については、[26 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールする」](#)を参照してください。この章では、次の項目について説明します。

- [64 ページの「システム要件」](#)
- [64 ページの「ソフトウェアのインストール」](#)
- [69 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter の手動による停止および起動」](#)
- [70 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter のアンインストール」](#)

システム要件

表 7-1 に、Linux、HP-UX、および IBM AIX のシステム要件を一覧表示します。

表 7-1 Linux、HP-UX、および IBM AIX の Sun StorEdge Diagnostic Reporter のシステム要件

OS のバージョン	メモリー	ディスク容量
Sun TM LX50 サーバーの Sun Linux 5.0 (SCSI のみ) Red Hat Advanced Server 2.1	256M バイト以上 512M バイト (推奨)	40M バイト以上 100M バイト (推奨)
HP-UX 11.0 および 11i	256M バイト以上 512M バイト (推奨)	40M バイト以上 100M バイト (推奨)
IBM AIX 4.3.3 および 5.1L	256M バイト以上 512M バイト (推奨)	40M バイト以上 100M バイト (推奨)

ソフトウェアのインストール

この節では、インストールパッケージの内容を紹介し、Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール手順について説明します。

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストールを開始する前に、ご使用のアレイのリリースノートをお読みください。

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールするには、スーパーユーザーまたは管理者になる必要があります。

インストールパッケージ

インストールパッケージは、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD に収められています。表 7-2 に、それぞれの OS に必要なファイルを示します。

表 7-2 Sun StorEdge Diagnostic Reporter インストールパッケージ

	Linux OS	HP-UX OS	IBM AIX OS
エージェント	SUNWscsa.rpm	SUNWscsa.depot	SUNWscsa.bff
Config Tool (UI)	SUNWscui.rpm	SUNWscui.depot	SUNWscui.bff

CD を利用できない場合は、Sun のダウンロードセンターからソフトウェアをダウンロードすることができます。

▼ Linux ホストに Diagnostic Reporter をインストールする

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントおよび Config Tool をインストールする前に、Sun StorEdge Configuration Service エージェントをインストールする必要があります。

注 – Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。Sun StorEdge Configuration Service は、Java Runtime 環境ソフトウェアのリリース 1.2 と互換性があります。

1. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、36 ページの「[Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする](#)」の**手順 1**～**手順 8**に続いて、**手順 3**を実行します。
2. CD からソフトウェアをインストールする場合は、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、次のように入力します。

```
# cd /cdrom/cdrom0/product/linux
```

3. エージェントをインストールするには、次のように入力します。

```
# rpm -ivh SUNWscsa.rpm
```

4. Config Tool (UI) をインストールするには、次のように入力します。

```
# rpm -ivh SUNWscui.rpm
```

5. インストールが完了すると、エージェントは自動的に起動します。
エージェントは /opt/SUNWsscs/ssdiagreporterd にインストールされます。Config Tool は /opt/SUNWsscs/ssdiagreporterui にインストールされます。

▼ HP-UX ホストに Diagnostic Reporter をインストールする

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントおよび Config Tool をインストールする前に、Sun StorEdge Configuration Service エージェントをインストールする必要があります。

注 – リモートログインホストに Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。Sun StorEdge Diagnostic Reporter は、Java Runtime 環境ソフトウェアのリリース 1.2 以上と互換性があります。リモートログインホスト環境を使用しない場合、Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールする HP-UX マシンにインストールする必要があります。

1. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、[46 ページの「Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする」の手順 1 ～手順 8](#) に続いて、[手順 6](#) を実行します。
2. CD からソフトウェアをインストールする場合、CD のマウントポイントが作成されていることを確認します。
3. Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入します。
4. CD のデバイスエントリを決めます。

```
# ioscan -fnC disk
```

デバイスエントリを、たとえば次のように示します。

```
/dev/dsk/c2t5d0
```

5. ファイルシステムに CD がマウントされていない場合は、マウントします。

```
# mount -r device-entry mounting-point
```

6. Web サイトからソフトウェアをインストールした場合、エージェントをインストールするには次のように入力します。

```
# swinstall -s SUNWscsa.depot
```

CD サイトからソフトウェアをインストールした場合、エージェントをインストールするには次のように入力します。

```
# swinstall -s /cdrom/product/hpux/SUNWscsa.depot
```

7. Web サイトからソフトウェアをインストールした場合、Config Tool (UI) をインストールするには次のように入力します。

```
# swinstall -s SUNWscui.depot
```

CD からソフトウェアをインストールした場合、Config Tool (UI) をインストールするには次のように入力します。

```
# swinstall -s /cdrom/product/hpux/SUNWscui.depot
```

エージェントは /opt/SUNWsscs/ssdiagreporterd にインストールされます。Config Tool は /opt/SUNWsscs/ssdiagreporterui にインストールされます。

▼ IBM AIX ホストに Diagnostic Reporter をインストールする

注 – Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。Sun StorEdge Configuration Service は、Java Runtime 環境ソフトウェアのリリース 1.3 以上と互換性があります。

1. Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime 環境ソフトウェアがインストールされていない場合は、ただちにインストールします。

Java Runtime 環境ソフトウェアのバージョンをチェックするには、次のように入力します。

```
# java -version
```

2. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、56 ページの「Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする」の手順 1 ～手順 8 に続いて、手順 4 を実行します。
3. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、Sun StorEdge Professional Storage Manager CD を挿入し、次のように入力します。

```
# mount -v cdrfs -o ro CD-drive
```

4. Web サイトからソフトウェアをインストールした場合、エージェントをインストールするには次のように入力します。

```
# installp -a -d SUNWscsd.bff
```

CD サイトからソフトウェアをインストールした場合、エージェントをインストールするには次のように入力します。

```
# installp -a -d /cdrom/product/aix/SUNWscsd.bff
```

5. Web サイトからソフトウェアをインストールした場合、Config Tool (UI) をインストールするには次のように入力します。

```
# installp -a -d SUNWscui.bff
```

CD からソフトウェアをインストールした場合、Config Tool (UI) をインストールするには次のように入力します。

```
# installp -a -d /cdrom/product/aix/SUNWscui.bff
```

エージェントまたはコンソールのインストールが完了すると、「Installation Summary」の「Result」列に、「SUCCESS」が表示されます。

エージェントは /usr/SUNWsscs/ssdiagreporterd にインストールされます。Config Tool は /usr/SUNWsscs/ssdiagreporterui にインストールされます。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter の手動による停止および起動

この節では、Sun StorEdge Diagnostic Reporter を手動で停止および起動する方法を説明します。

注 - エージェント (デーモン) を起動および停止するには、スーパーユーザーである必要があります。

▼ Linux ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を停止および起動する

次のように入力します。

```
# /etc/init.d/ssdgrptd stop
# /etc/init.d/ssdgrptd start
```

▼ HP-UX ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を停止および起動する

次のように入力します。

```
# /sbin/init.d/ssdgrptd stop
# /sbin/init.d/ssdgrptd start
```

▼ IBM AIX ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を停止および起動する

次のように入力します。

```
# /usr/sbin/ssdgrptd stop
# /usr/sbin/ssdgrptd start
```

Sun StorEdge Diagnostic Reporter のアンインストール

この節では、Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする方法を説明します。

▼ Linux ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする

`rpm -e` コマンドに続いて、アンインストールするパッケージ `SUNWscsa` (エージェント) または `SUNWscui` (Config Tool) を指定します。

```
# rpm -e SUNWscsa
# rpm -e SUNWscui
```

▼ HP-UX ホストで Diagnostic Reporter をアンインストールする

`swremove` コマンドに続いて、アンインストールするパッケージ `SUNWscsa` (エージェント) または `SUNWscui` (Config Tool) を指定します。

```
# swremove SUNWscsa
# swremove SUNWscui
```

▼ IBM AIX ホストで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールする

`installp -u` コマンドに続いて、アンインストールするパッケージ `SUNWscsa` (エージェント) または `SUNWscui` (Config Tool) を指定します。

```
# installp -u SUNWscsa
# installp -u SUNWscui
```

コマンド行インタフェースのインストールとアクセス

この章では、Linux、HP-UX、または IBM AIX にコマンド行インタフェース (CLI) をインストールする方法について説明します。CLI を Solaris ホストにインストールする方法については、5 ページの「[Solaris ホストへのソフトウェアのインストール](#)」を参照してください。CLI を Windows ホストにインストールする方法については、27 ページの「[Sun StorEdge CLI をインストールする](#)」を参照してください。

CLI を使用すると、ファームウェアアプリケーションまたは Sun StorEdge Configuration Service のメニューオプションを選択して実行する操作の多くを実行できます。CLI コマンドには、スクリプト可能であるという利点があります。そのため、大規模なデータセンターの環境で多数のアレイを同様な構成にする必要がある場合に特に便利です。この章では、以下の項目について説明します。

- 71 ページの「[CLI のインストールを開始する前に](#)」
- 72 ページの「[システム要件](#)」
- 72 ページの「[ソフトウェアのインストール](#)」
- 75 ページの「[CLI のアンインストール](#)」

CLI のインストールを開始する前に

- ご使用のアレイのリリースノートを必ずお読みください。
- 論理デバイスがプライマリコントローラにマップされていることを確認してください。

システム要件

表 8-1 に、Linux、HP-UX、および IBM AIX のシステム要件を一覧表示します。

表 8-1 CLI のシステム要件

OS のバージョン	ディスク容量
Sun LX50 サーバーの Sun Linux 5.0 (SCSI のみ) Red Hat Advanced Server 2.1	3M バイト以上
HP-UX 11.0 および 11i	3M バイト以上
IBM AIX 4.3.3 および 5.1L	4M バイト以上

ソフトウェアのインストール

この節では、インストールパッケージの内容を紹介し、それぞれのサポート対象プラットフォームでの CLI のインストール手順について説明します。

注 – CLI をインストールするには、スーパーユーザー (管理者) になります。

インストールパッケージ

CLI インストールパッケージは、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD にあり、表 8-2 に示すファイルが含まれています。このパッケージは、アレイに接続されているホストにインストールする必要があります。

表 8-2 コマンド行インタフェースのインストールパッケージ

Linux OS	HP-UX OS	IBM AIX OS
SUNWsccli-linux.rpm	SUNWsccli-hp-ux.depot	SUNWsccli-aix.bff

CD を利用できない場合は、Sun のダウンロードセンターからソフトウェアをダウンロードすることができます。

▼ Linux ホストに CLI をインストールする

1. ファイルシステムに CD ドライブがマウントされていない場合は、マウントします。

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

2. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、36 ページの「Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードする」の手順 1～手順 8 に続いて、手順 4 を実行します。
3. CD からソフトウェアをインストールする場合は、Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、次のように入力します。

```
# cd /mnt/cdrom/product/linux
```

4. 次のように入力します。

```
# rpm -ivh SUNWsccli.rpm
```

CLI にアクセスするには、CLI のインストール先のホスト (アレイに接続されたホスト) に root ユーザーとしてログインし、次のように入力します。

```
# sccli ( オプションとサブコマンド)
```

オプションとサブコマンドのリストは、man ページを参照してください。

CLI は /opt/SUNWsscs/sbin/sccli にインストールされます。

▼ HP-UX ホストに CLI をインストールする

1. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、46 ページの「Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする」の手順 1～手順 8 に続いて、手順 5 を実行します。
1. CD 用のマウントポイントが作成されていることを確認します。
2. Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入します。

3. CD のデバイスエントリを決めます。

```
# ioscan -fnC disk
```

デバイスエントリを、たとえば次のように示します。

```
/dev/dsk/c2t5d0
```

4. ファイルシステムに CD がマウントされていない場合は、マウントします。

```
# mount -r device-entry mounting-point
```

5. Web サイトからソフトウェアをインストールした場合は、次のように入力します。

```
# swinstall -s SUNWsccli-hpux.depot
```

CD からソフトウェアをインストールした場合は、次のように入力します。

```
# swinstall -s /cdrom/product/hpux/SUNWsccli-hpux.depot
```

CLI は /opt/SUNWsscs/sbin/sccli にインストールされます。

▼ IBM AIX ホストに CLI をインストールする

1. Web サイトからソフトウェアをインストールする場合は、56 ページの「[Web サイトから更新ソフトウェアをダウンロードしインストールする](#)」の手順 1 ~ 手順 8 に続いて、手順 3 を実行します。
2. CD からソフトウェアをインストールする場合は、Sun StorEdge Professional Storage Manager CD を挿入し、次のように入力します。

```
# mount -v cdrfs -o ro CD-drive
```

3. Web サイトからソフトウェアをインストールした場合は、次のように入力します。

```
# installp -a -d SUNWsccli-aix.bff
```

CD からソフトウェアをインストールした場合は、次のように入力します。

```
# installp -a -d /cdrom/product/aix/SUNWsccli-aix.bff
```

CLI のインストールが完了すると、「Installation Summary」の「Result」列に、「SUCCESS」が表示されます。

CLI は /usr/SUNWsscs/sbin/sccli にインストールされます。

CLI のアンインストール

この節では、CLI をアンインストールする方法を説明します。Solaris ホストでの CLI および日本語版 man ページのアンインストール方法については、[17 ページの「以前のバージョンの CLI をアンインストールする」](#)を参照してください。

▼ Linux ホストで CLI をアンインストールする

CLI をアンインストールするには、rpm -e コマンドを使用します。

```
# rpm -e SUNWsccli
```

▼ HP-UX ホストで CLI をアンインストールする

CLI をアンインストールするには、swremove コマンドを使用します。

```
# swremove SUNWsccli
```

▼ IBM AIX ホストで CLI をアンインストールする

CLI をアンインストールするには、`installp -u` コマンドを使用します。

```
# installp -u SUNWsccli
```

索引

C

cfg.tag ファイル, 18

CLI

HP-UX ホスト

インストールディレクトリ, 74
システム要件, 22, 72

IBM AIX ホスト

インストールディレクトリ, 75
システム要件, 72

Linux ホスト

インストールディレクトリ, 73
システム要件, 72

Microsoft Windows ホスト

インストールディレクトリ, 27
システム要件, 72

Solaris ホスト

インストールディレクトリ, 11

インストール

インストールパッケージ, 72
システム要件, 72
はじめに, 1, 71

Config Tool

Sun StorEdge Diagnostic Reporter

HP-UX ホスト

インストールディレクトリ, 67

IBM AIX ホスト

インストール, 68
インストールディレクトリ, 68

Linux ホスト

インストール, 65
インストールディレクトリ, 65

Microsoft Windows ホスト

インストール, 26

インストールディレクトリ, 26, 27

Solaris ホスト

インストールディレクトリ, 10

H

HP-UX ホスト

CLI

アンインストール, 75
インストール, 73
システム要件, 72

Sun StorEdge Configuration Service

アンインストール, 51
インストール, 43
エージェントの停止 / 起動, 48
システム要件, 43
パスワードの作成, 50

Sun StorEdge Diagnostic Reporter

アンインストール, 70
インストール, 63, 66
システム要件, 64
停止と起動, 69

I

IBM AIX ホスト

CLI

アンインストール, 76
インストール, 74
システム要件, 72

Sun StorEdge Configuration Service

- アンインストール, 61
- インストール, 53
- エージェントの停止 / 起動, 58
- システム要件, 53
- パスワードの作成, 59

Sun StorEdge Diagnostic Reporter

- アンインストール, 70
- インストール, 67
- 停止と起動, 69

installp -u コマンド, 61

J

Java Runtime 環境

Sun StorEdge Configuration Service の要件

- HP-UX ホスト, 45
- IBM AIX ホスト, 55
- Linux ホスト, 35
- Microsoft Windows ホスト, 25
- Solaris ホスト, 8

Sun StorEdge Diagnostic Reporter の要件

- HP-UX ホスト, 66
- IBM AIX ホスト, 67
- Linux ホスト, 65
- Solaris ホスト, 8

バージョンの確認

- HP-UX ホスト, 47
- IBM AIX ホスト, 57
- Linux ホスト, 37
- Solaris ホスト, 19

L

Linux ホスト

CLI

- アンインストール, 75
- インストール, 73
- システム要件, 72

Sun StorEdge Configuration Service

- アンインストール, 41
- エージェントの停止 / 起動, 38
- システム要件, 33
- パスワードの作成, 39

Sun StorEdge Diagnostic Reporter

Solaris ホスト, 13

アンインストール, 70

インストール, 65

停止と起動, 69

M

man ページ

日本語版

アンインストール, 12

インストール, 12

Microsoft Internet Explorer

サポート対象バージョン

Microsoft Windows ホスト, 21

Microsoft Windows ホスト

CLI

アンインストール, 32

インストール, 27

システム要件, 72

Sun StorEdge Configuration Service

アンインストール, 31

インストール, 21

システム要件, 21

パスワードの作成, 29

Sun StorEdge Diagnostic Reporter

アンインストール, 31

インストール, 26

N

Netscape Navigator

IBM AIX

インストールディレクトリ, 57, 58

サポート対象バージョン

HP-UX ホスト, 43

IBM AIX ホスト, 53

Linux ホスト, 33

Microsoft Windows ホスト, 21

Solaris ホスト, 6

O

OS

インストール前に, 2

同じ ID で複数の LUN を認識, 2

- システム要件
 - Sun StorEdge Configuration Service
 - Solaris ホスト, 6
 - Sun StorEdge Diagnostic Reporter
 - Microsoft Windows ホスト, 64

P

- pkgrm コマンド, 18

R

- rpm -e コマンド, 41

S

- SNMP サービスオプション, 2
- Solaris ホスト
 - CLI
 - アンインストール, 17
 - システム要件, 6
 - Sun StorEdge Configuration Service
 - インストール, 6
 - システム要件, 6
 - 停止と起動, 14
 - 言語サポート, 8
 - Sun StorEdge Diagnostic Reporter
 - インストール, 10
 - 停止と起動, 13, 69
- ssadmin 名, 14, 29, 40, 50, 59
- ssconfig 名, 14, 29, 40, 50, 59
- ssmon 名, 14, 29, 40, 49, 59
- ssstrapd 名, 39
- Sun StorEdge 3310 SCSI アレイ
 - Solaris ホストへの Sun StorEdge Configuration Service のインストール前に, 2
 - Sun StorEdge Configuration Service のインストール前に, 2
- Sun StorEdge 3510 FC Array
 - Sun StorEdge Configuration Service のインストール前に, 2
- Sun StorEdge 3511 SATA Array
 - Sun StorEdge Configuration Service のインストール前に, 2
- Sun StorEdge Configuration Service

- HP-UX ホストへのインストール, 43
 - インストールコンポーネント, 44
 - エージェント, 47
 - エージェントの手動での停止 / 起動, 48
 - コンソール, 47
 - コンソールの表示, 48
 - パスワードの作成, 49
 - ユーザーの作成, 49

- IBM AIX ホストへのインストール, 53
 - アンインストール, 61
 - インストールコンポーネント, 54
 - エージェント, 57
 - エージェントの手動での停止 / 起動, 58
 - コンソール, 57
 - システム要件, 53
 - パスワードの作成, 59
 - ユーザーの作成, 59

- Linux ホストへのインストール, 33

- Config Tool, 65
 - アンインストール, 41
 - インストールコンポーネント, 34
 - システム要件, 33
 - 手動での停止 / 起動, 38
 - パスワードの作成, 39
 - ユーザーの作成, 39

- Microsoft Windows でのインストール
 - エージェントの手動での停止 / 起動, 28

- Microsoft Windows ホストへのインストール, 21
 - インストールコンポーネント, 23
 - エージェント, 25
 - システム要件, 21

- Solaris ホスト
 - インストール, 10

- Solaris ホストへのインストール, 6, 10
 - インストールコンポーネント, 7
 - 英語版のみのインストール, 9, 10, 36, 46, 56
 - エージェントが実行中かどうか確認, 13
 - エージェントの手動での停止と起動, 12
 - オプションの言語サポートを追加, 10
 - 構成の復元, 18
 - システム要件, 6
 - 障害追跡, 19
 - スーパーユーザー要件, 1
 - はじめに, 1, 5
 - パスワードの作成, 14
 - ユーザーの作成, 14

- Sun StorEdge Diagnostic Reporter
 - HP-UX ホストへのインストール
 - エージェントの手動での停止と起動, 69
 - IBM AIX ホストへのインストール
 - Config Tool, 68
 - エージェント, 68
 - エージェントの手動での停止と起動, 69
 - Linux ホスト
 - エージェント, 65
 - Linux ホストへのインストール
 - Config Tool, 65
 - エージェント, 65
 - エージェントの手動での停止と起動, 13, 69
 - Microsoft Windows ホストへのインストール
 - Config Tool, 26, 27
 - エージェント, 26
 - エージェントの手動での停止 / 起動, 28
 - Solaris ホスト
 - インストール, 10
 - Solaris ホストへのインストール, 10
 - UI のインストール, 27
 - アンインストール, 70
 - インストール, 22, 64
 - はじめに, 1
 - インストールエラーメッセージ, 27
 - サービスのインストール, 26
 - システム要件, 64
 - フルインストール, 26

svrlist.dat ファイル, 15, 41, 51, 60

T

TCP/IP

- システム要件
 - HP-UX ホスト, 43
 - IBM AIX ホスト, 53
 - Linux ホスト, 33
 - Microsoft Windows ホスト, 21
 - Solaris ホスト, 6

W

Web ブラウザ

- 構成
 - HP-UX ホスト, 48

- IBM AIX ホスト, 57, 58
- Linux ホスト, 37
- サポート対象バージョン
 - HP-UX ホスト, 43
 - IBM AIX ホスト, 53
 - Linux ホスト, 33
 - Microsoft Windows ホスト, 21
 - Solaris ホスト, 6

あ

アンインストール

- CLI
 - HP-UX ホスト, 75
 - IBM AIX ホスト, 76
 - Linux ホスト, 75
 - Microsoft Windows ホスト, 32
 - Solaris ホスト, 17
- Sun StorEdge Configuration Service
 - HP-UX ホスト, 51
 - IBM AIX ホスト, 61
 - Linux ホスト, 41
 - Microsoft Windows ホスト, 31
 - Solaris ホスト, 16
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter
 - HP-UX ホスト, 70
 - IBM AIX ホスト, 70
 - Linux ホスト, 70
 - Microsoft Windows ホスト, 31
 - Solaris ホスト, 16
- 以前のバージョンのソフトウェア
 - Solaris ホスト, 16
- ソフトウェア
 - Solaris ホスト, 17

い

インストール

- CLI
 - HP-UX ホスト, 73
 - IBM AIX ホスト, 74
 - Linux ホスト, 73
 - Microsoft Windows ホスト, 27
 - インストールパッケージ, 72
 - スーパーユーザー要件, 1
 - はじめに, 1

Sun StorEdge Configuration Service
HP-UX ホスト
インストールコンポーネント, 44
インストールパッケージ, 45
エージェント, 47
コンソール, 47
コンソールの表示, 48
IBM AIX ホスト
インストールコンポーネント, 54
インストールパッケージ, 55
エージェント, 57
コンソール, 57
Linux ホスト
インストールコンポーネント, 34
インストールパッケージ, 35
Microsoft Windows ホスト
インストールコンポーネント, 23
エージェント, 25
Solaris ホスト, 10
インストールコンポーネント, 7
スーパーユーザー要件, 1
はじめに, 5
はじめに, 1
Sun StorEdge Diagnostic Reporter, 22, 64
IBM AIX ホスト
エージェント, 68
Linux ホスト
Config Tool, 65
エージェント, 65
Microsoft Windows ホスト
Config Tool, 26, 27
エージェント, 26
Solaris ホスト, 10
エラーメッセージ, 27
スーパーユーザー要件, 1
はじめに, 1

え

エージェント

Sun StorEdge Configuration Service
HP-UX ホスト
アンインストール, 51
インストール, 47
インストールディレクトリ, 48
システム要件, 44
実行中かどうか確認, 49
手動での停止 / 起動, 48
IBM AIX ホスト

アンインストール, 61
インストール, 57
インストールディレクトリ, 57, 58
システム要件, 54
実行中かどうか確認, 59
手動での停止 / 起動, 58

Linux ホスト

アンインストール, 41
インストール, 37
インストールディレクトリ, 38
システム要件, 34
実行中かどうか確認, 39
手動での停止 / 起動, 38

Microsoft Windows ホスト

アンインストール, 31
インストール, 25
インストールディレクトリ, 25
手動での停止 / 起動, 28

Solaris ホスト

アンインストール, 16
インストールディレクトリ, 10
実行中かどうか確認, 13
手動での停止と起動, 12
言語サポート, 8

Sun StorEdge Diagnostic Reporter

HP-UX ホスト

アンインストール, 70
インストールディレクトリ, 67
手動での停止と起動, 69

IBM AIX ホスト

アンインストール, 70
インストール, 68
インストールディレクトリ, 68
手動での停止と起動, 69

Linux ホスト

アンインストール, 70
インストール, 65
インストールディレクトリ, 65
手動での停止と起動, 13, 69

Microsoft Windows ホスト

アンインストール, 31
インストール, 26
インストールディレクトリ, 26, 27
手動での停止 / 起動, 28

Solaris ホスト

インストールディレクトリ, 10
手動での停止と起動, 12

エラーメッセージ

Sun StorEdge Diagnostic Reporter, 27

お

オペレーティングシステム、「OS」を参照。

オンラインヘルプ

ブラウザの構成

Sun StorEdge Configuration Service

HP-UX ホスト, 48

IBM AIX ホスト, 57, 58

Linux ホスト, 37

か

簡易ネットワーク管理システム、「SNMP サービスオプション」を参照。

韓国語の言語サポート

Sun StorEdge Configuration Service への追加

Solaris ホスト, 10

簡体字中国語の言語サポート

Sun StorEdge Configuration Service への追加

Solaris ホスト, 10

け

言語サポート

追加

Sun StorEdge Configuration Service

Solaris ホスト, 10

こ

構成

Solaris ホストでの復元, 18

構成の復元

Sun StorEdge Configuration Service

Solaris ホスト, 18

コマンド行インタフェース、「CLI」を参照。

コンソール

Sun StorEdge Configuration Service

HP-UX ホスト

インストール, 47

インストールディレクトリ, 48

システム要件, 44

表示, 48

IBM AIX ホスト

インストール, 57

インストールディレクトリ, 57, 58

システム要件, 54

Linux ホスト

インストールディレクトリ, 38

システム要件, 34

Microsoft Windows ホスト

インストール, 25

インストールディレクトリ, 25

システム要件, 22

Solaris ホスト

インストールディレクトリ, 10

システム要件, 6

し

システム要件

CLI, 72

Sun StorEdge Configuration Service

HP-UX ホスト, 44

IBM AIX ホスト, 53

Linux ホスト, 34

Microsoft Windows ホスト, 22

Solaris ホスト, 6

Sun StorEdge Diagnostic Reporter, 64

せ

セキュリティーレベル

HP-UX ホスト, 49

IBM AIX ホスト, 59

Linux ホスト, 39

Microsoft Windows ホスト, 29

Solaris ホスト, 14

ち

中国語の言語サポート

Sun StorEdge Configuration Service への追加

Solaris ホスト, 10

て

ディスク空き容量要件

Sun StorEdge Configuration Service

Solaris ホスト, 6

ディスク容量の要件

CLI, 22, 72

Sun StorEdge Configuration Service

HP-UX ホスト, 44
IBM AIX ホスト, 54
Linux ホスト, 34
Microsoft Windows ホスト, 22
Sun StorEdge Diagnostic Reporter, 22, 64

IBM AIX ホスト, 54
Linux ホスト, 34
Microsoft Windows ホスト, 22
Solaris ホスト, 6
Sun StorEdge Diagnostic Reporter, 22, 64

に

日本語の言語サポート
Solaris ホスト
man ページ, 12
アンインストール, 18
Sun StorEdge Configuration Service への追加
Solaris ホスト, 10

は

パスワード
作成
HP-UX ホスト, 50
IBM AIX ホスト, 60
Linux ホスト, 41
Microsoft Windows ホスト, 30
Solaris ホスト, 15
繁体字中国語の言語サポート
Sun StorEdge Configuration Service への追加
Solaris ホスト, 10

ふ

フランス語の言語サポート
Sun StorEdge Configuration Service への追加
Solaris ホスト, 10

ま

マニュアル
内容の紹介, xii

め

メモリー要件
Sun StorEdge Configuration Service
HP-UX ホスト, 44

も

モニター
システム要件
HP-UX ホスト, 43
IBM AIX ホスト, 53
Linux ホスト, 33
Microsoft Windows ホスト, 21
Solaris ホスト, 6

ゆ

ユーザー
作成
HP-UX ホスト, 49
IBM AIX ホスト, 59
Linux ホスト, 39
Solaris ホスト, 14

